

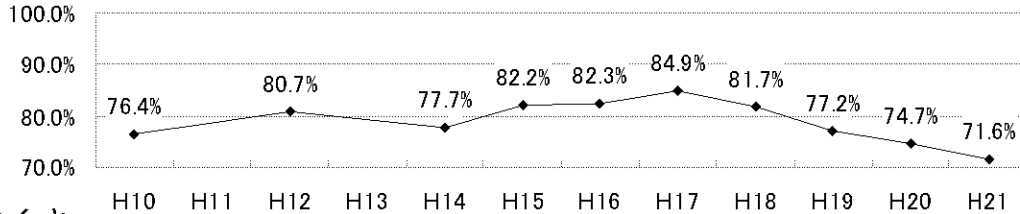
7. お住まいの地域の住みやすさについての評価・愛着及び今後の定住意向

(1) お住まいの地域の住みやすさについての評価

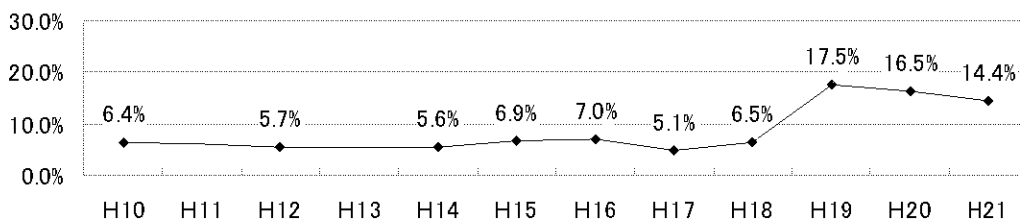
問2-1 あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。

(回答は単一選択式)

○住みやすさ

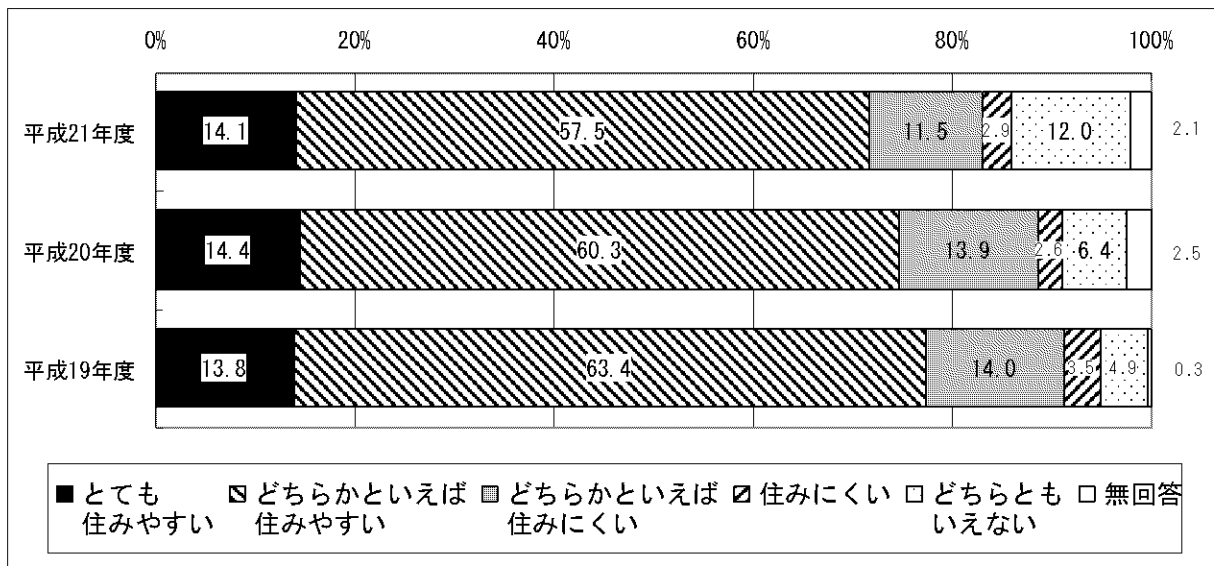


○住みにくさ



○全体

(集計資料 p.96)



平成21年度

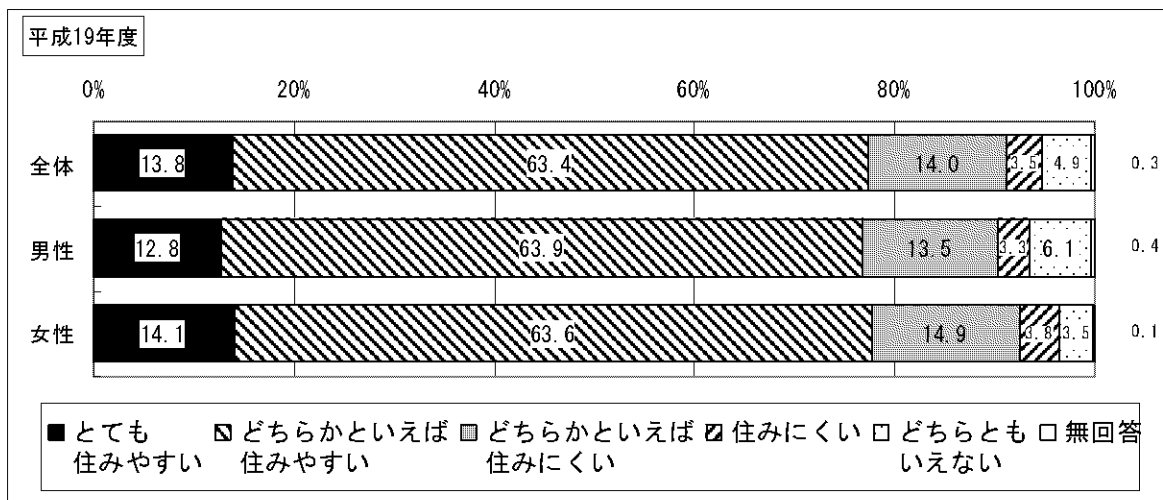
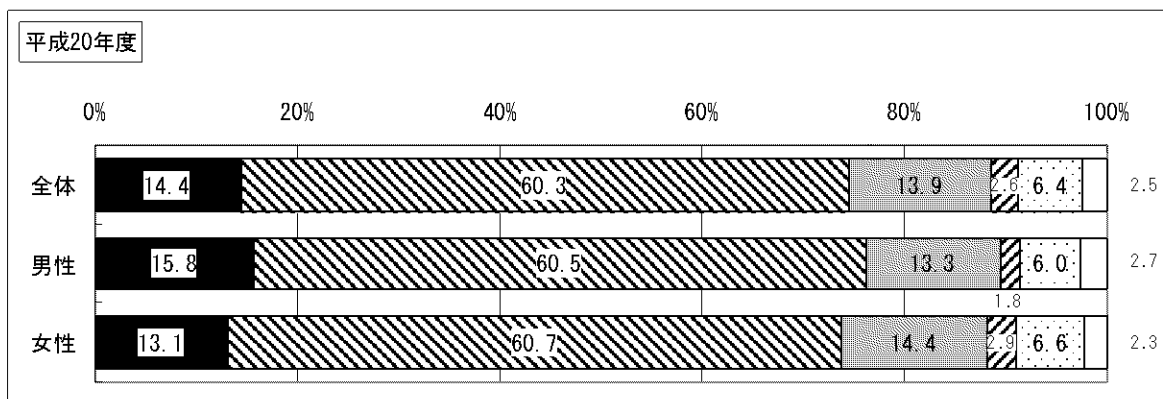
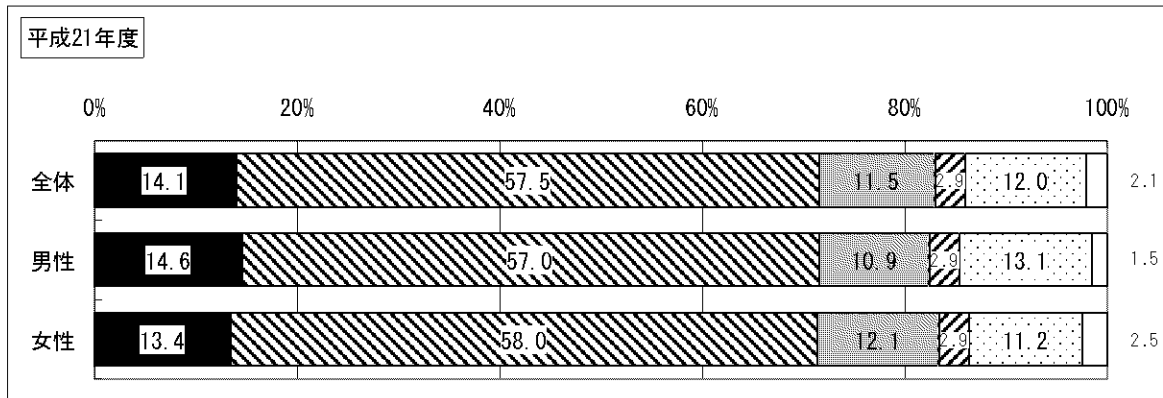
全体では、「どちらかといえば住みやすい」が5割以上(57.5%)を占め、これに「とても住みやすい」(14.1%)を合わせた“住みやすい”と答えた人は71.6%となっている。一方、「どちらかといえば住みにくい」(11.5%)と「住みにくい」(2.9%)を合わせた“住みにくい”と答えた人は14.4%となっている。

平成19年度、平成20年度との比較

「とても住みやすい」と答えた人は3年間では大きな変化はみられないが、「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”と答えた人は減少が続いている。また、“住みにくい”と答えた人も減少し、「どちらともいえない」が増加している。

○性別

(集計資料 p.96)



平成21年度

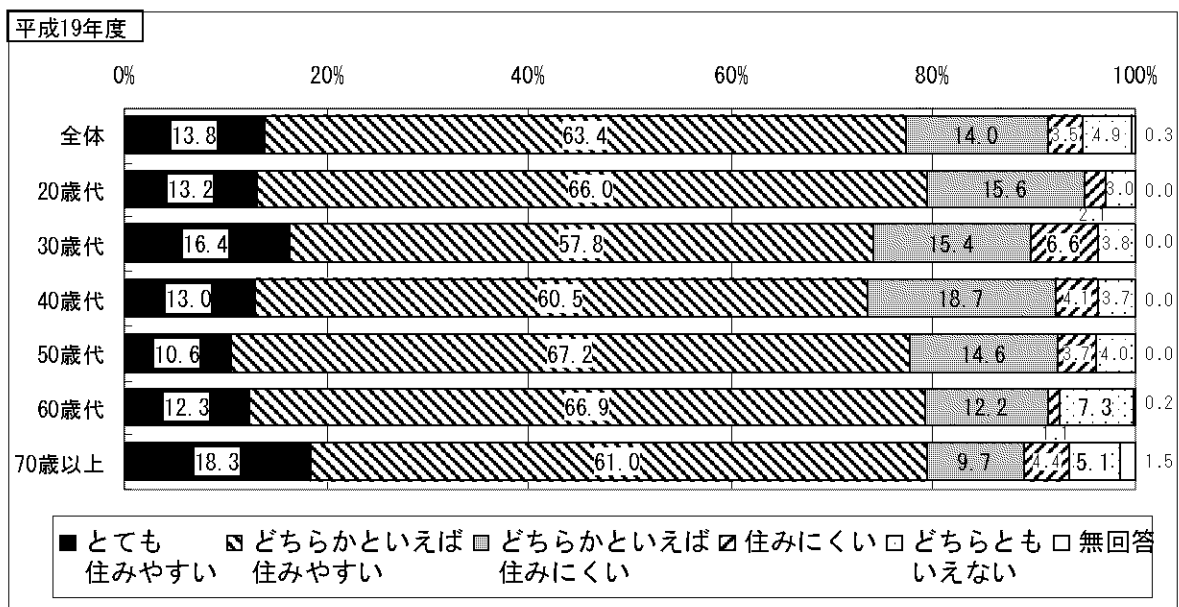
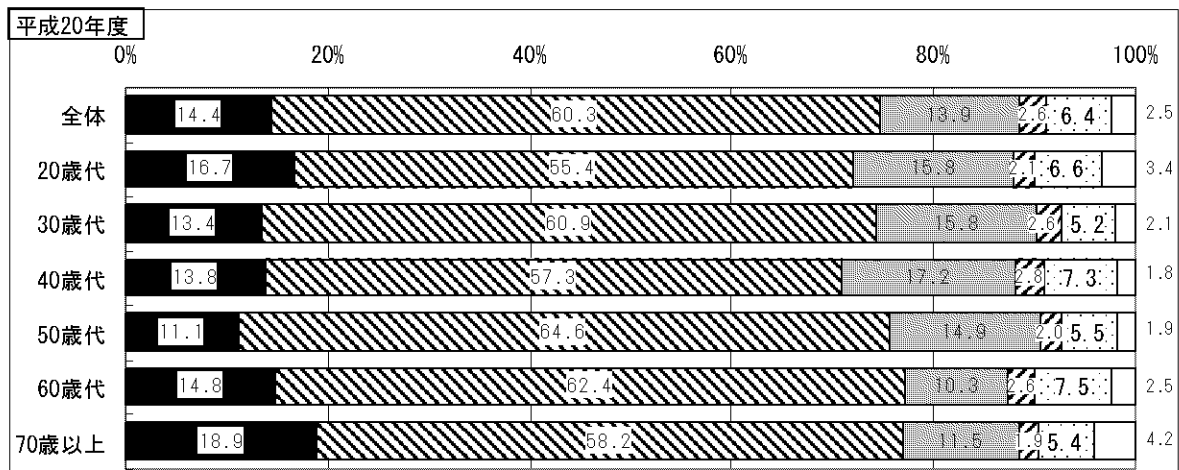
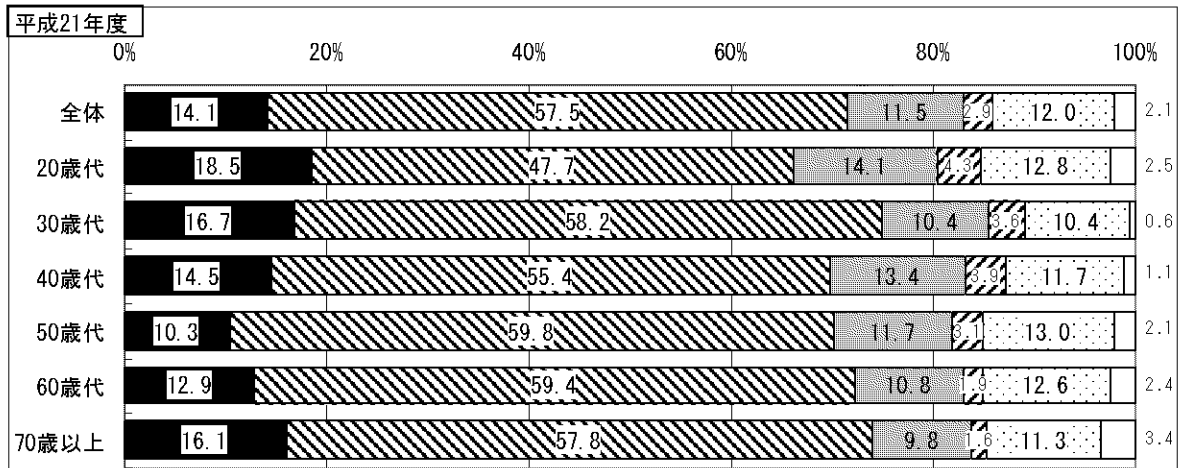
“住みやすい”と答えた人は、男性が71.6%、女性が71.4%とほとんど差はない。

平成19年度、平成20年度との比較

“住みやすい”と答えた人は、20年度から21年度にかけて男女ともに減少しているが、特に男性は4.7ポイントと女性の2.4ポイントに比べ大きく減少している。ただし、3年間でみると、“住みやすい”と答えた人の減少幅は男性(5.1ポイント)よりも女性(6.3ポイント)の方が大きい。

○年齢層別

(集計資料 p.96)



平成 21 年度

“住みやすい”と答えた人は、全ての年代で7割前後を占め、特に30歳代(74.9%)で最も多くなっている。

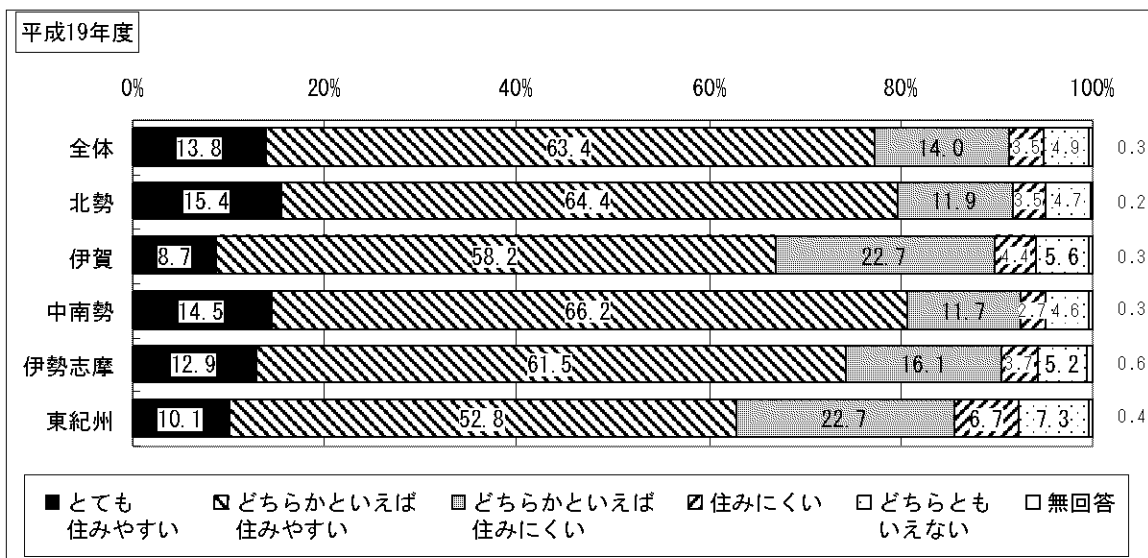
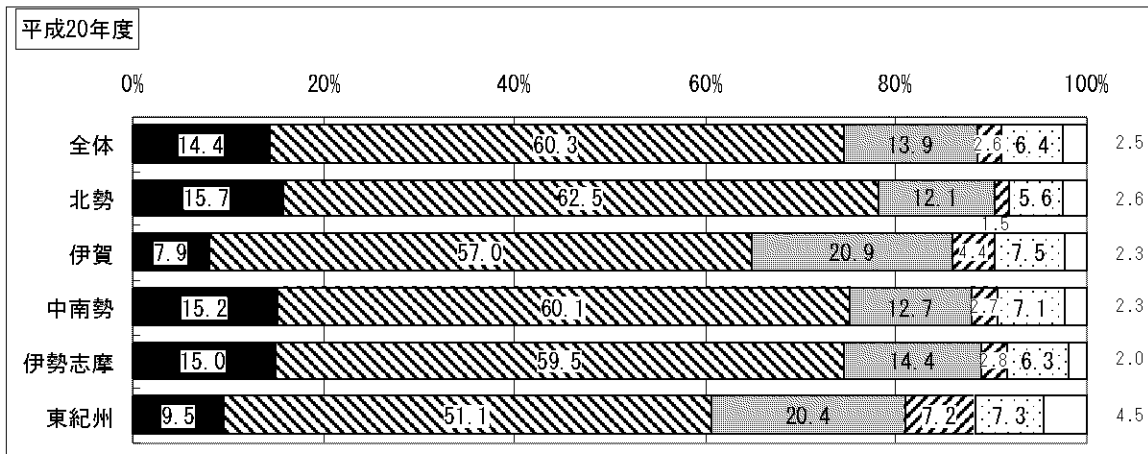
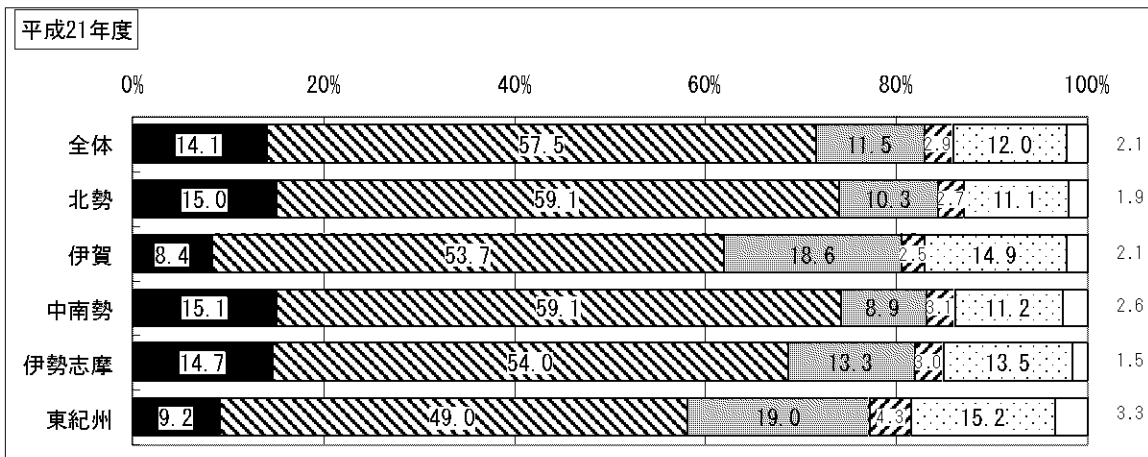
平成 19 年度、平成 20 年度との比較

「とても住みやすい」と答えた人は、19年度から20年度にかけては30歳代以外は増加している。20年度から21年度にかけては20～40歳代は増加しているが、50～70歳以上は減少している。

また、“住みやすい”と答えた人は、19年度から20年度にかけては30歳代を除く全ての年齢層で減少している。20年度から21年度にかけて30歳代以外は全ての年齢層で減少し、特に20歳代、40歳代は6割台となっている。一方、“住みにくい”も、20歳代以外では減少し、「どちらともいえない」が全ての年齢層で増加している。

○地域別

(集計資料 p.96)



平成 21 年度

「とても住みやすい」と答えた人は、北勢地域（15.0%）、中南勢地域（15.1%）、で15%以上となっているのに対し、伊賀地域（8.4%）、東紀州地域（9.2%）では1割に満たない。

また、“住みやすい”は、北勢地域、中南勢地域は7割を越えているが、伊賀地域、伊勢志摩地域は60%台、東紀州地域は58.2%で6割に満たない。

一方、“住みにくい”と答えた人は、伊賀地域、東紀州地域では2割を超えている。

平成 19 年度、平成 20 年度との比較

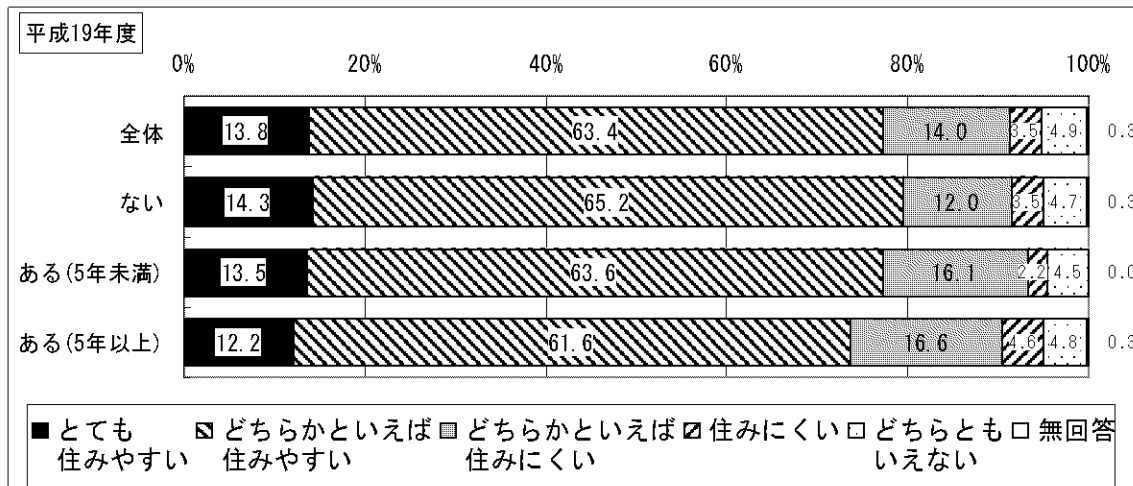
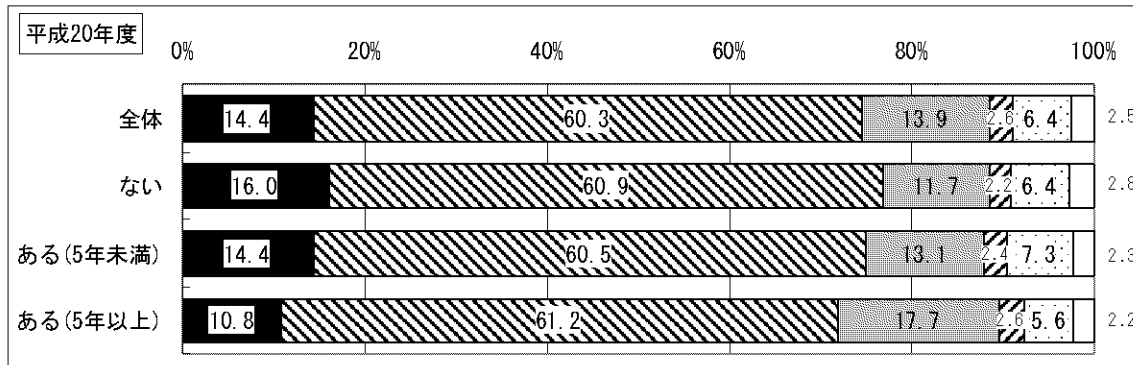
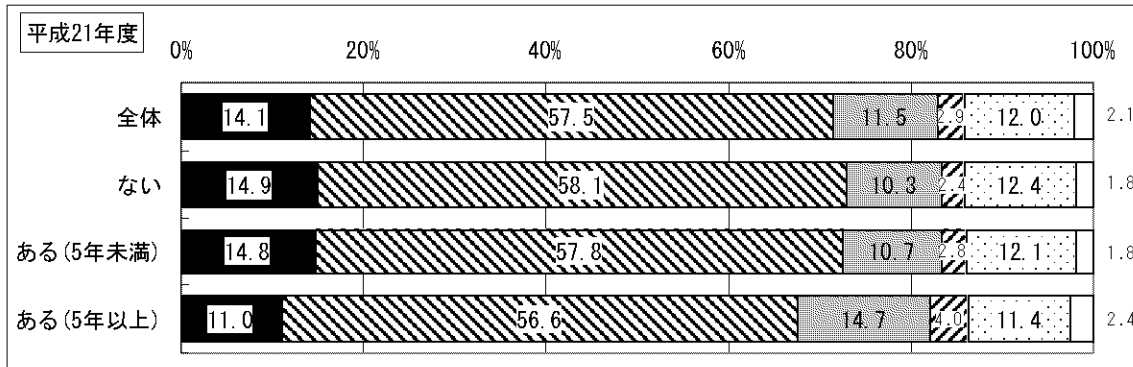
“住みやすい”と答えた人は、20年から21年にかけて全ての地域で減少している。

19年度から21年度の3年間で比較すると、“住みやすい”と答えた人は、全ての地域で減少しており、最も減少幅が大きいのは中南勢地域で、6.5ポイント減少している。

一方、“住みにくい”の3年間の推移をみると、全ての地域で減少し、伊賀地域、東紀州地域では減少幅がやや大きい。

○県外在住の経験別

(集計資料 p.96)



平成 21 年度

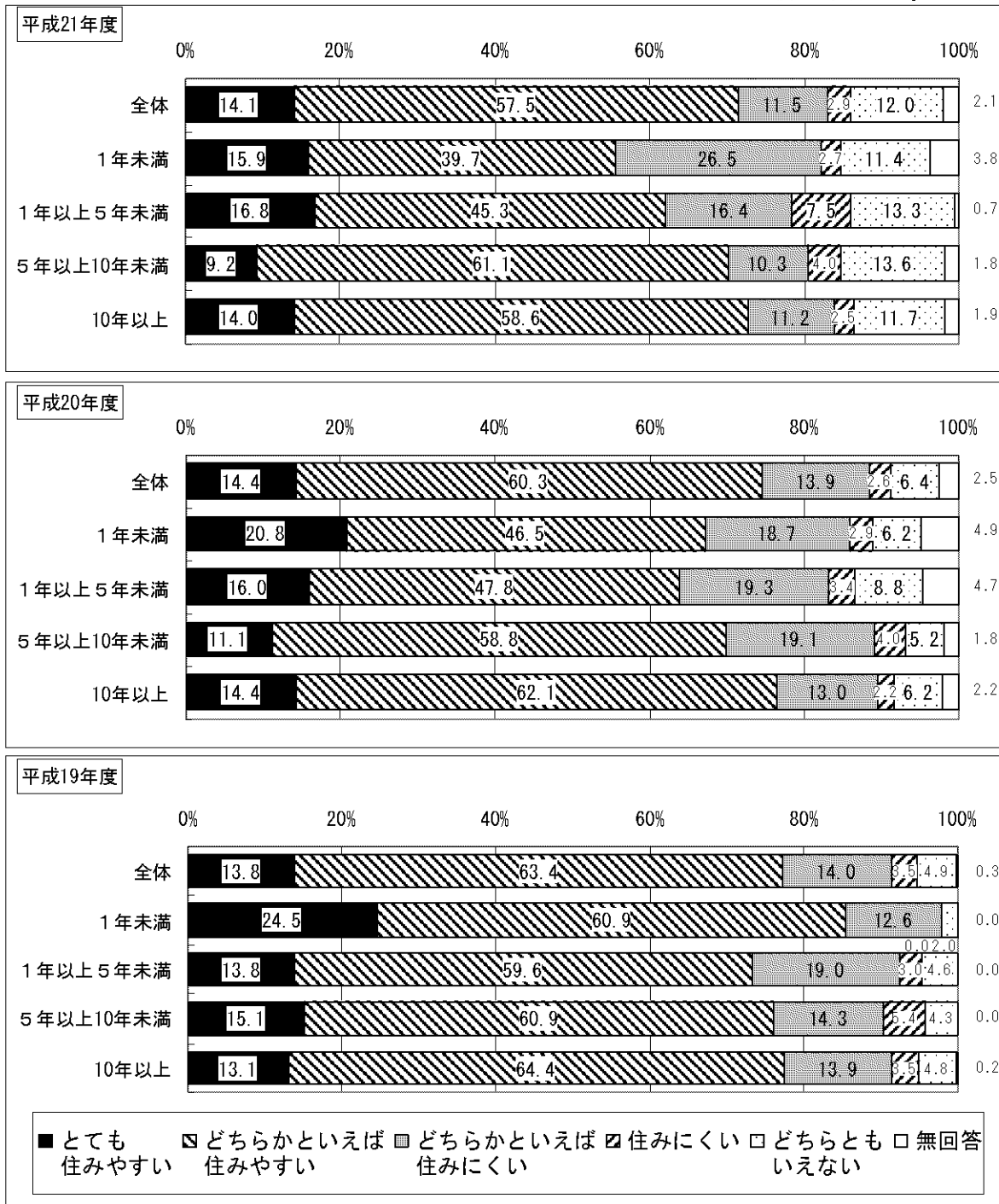
“住みやすい”と答えた人は、県外在住経験が「ない」人が73.0%、「ある（5年未満）」の人が72.6%と差がないが、「ある（5年以上）」の人は67.6%とやや少なくなっている。

平成 19 年度、平成 20 年度との比較

19年度、20年度と比較すると、いずれの階層においても“住みやすい”と感じている人は年々減少している。特に「ある（5年以上）」は、7割に満たない。“住みにくい”については、いずれの階層においても減少している。各年度とも県外在住経験が「ある」で長いほど“住みにくい”が多い傾向にある。

○居住年数別

(集計資料 p. 96)



平成 21 年度

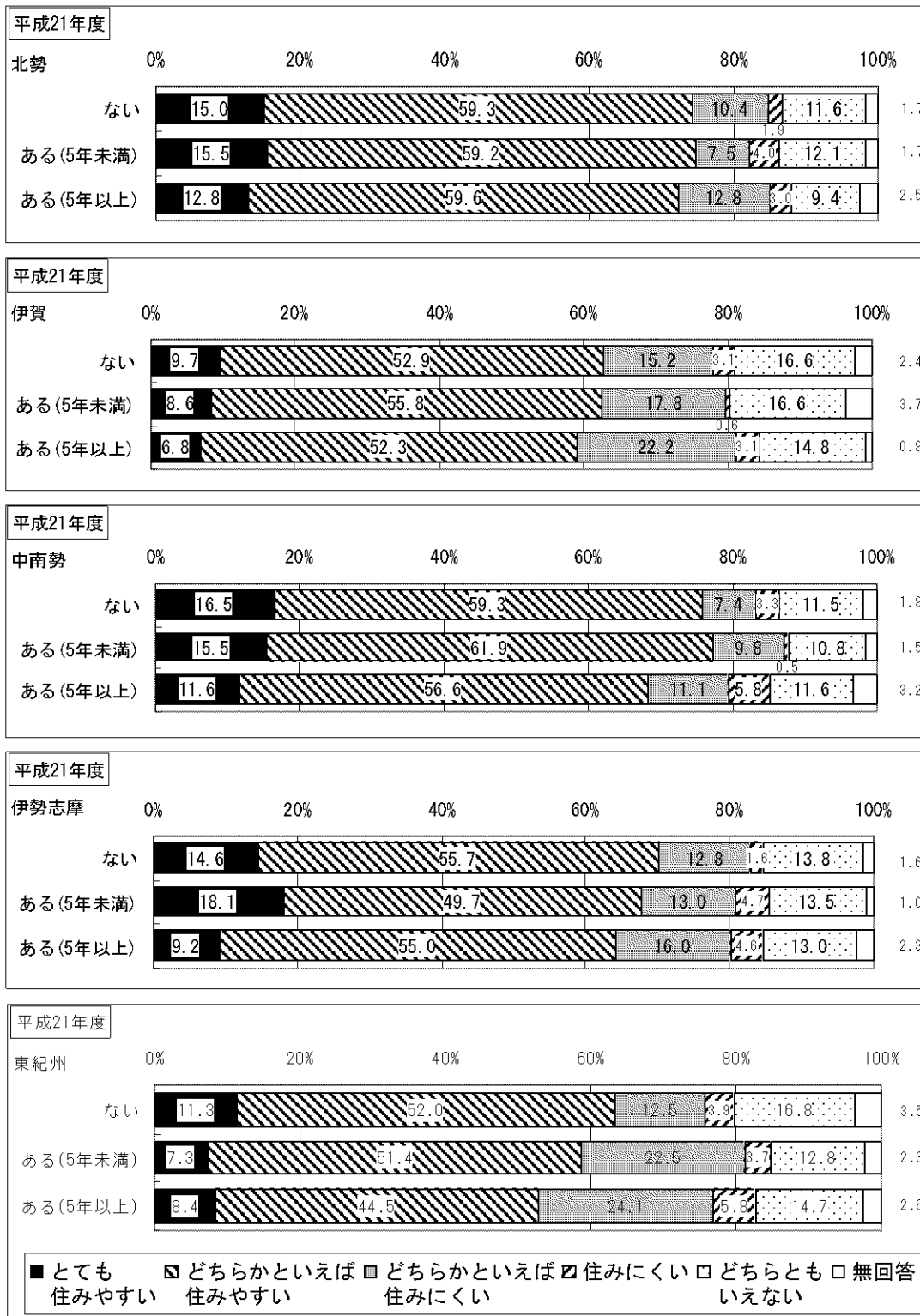
“住みやすい”と答えた人は、居住年数が10年以上の人が最も多く72.6%となっている。居住年数が短いほど、“住みやすい”と感じる人が少ない。「住みにくい」は、1年以上5年未満(7.5%)で最も多くなっている。

平成 19 年度、平成 20 年度との比較

“住みやすい”と答えた人は、19年度と20年度を比較すると、全ての階層で減少している。特に、1年未満については、18.1ポイントも減少している。21年度から20年度にかけては、5年以上10年未満を除いて減少している。特に、1年未満は11.7ポイント減少しており、3年間では29.8ポイントも減少している。居住年数の短いほど、“住みやすい”と感じる人が大幅に減少している。

○地域・県外在住経験別

(集計資料 p.97)



平成21年度

“住みやすい”と答えた人は、伊勢志摩地域、東紀州地域において、県外在住経験が「ある」人よりも「ない」人の方が多くなっている。北勢地域、伊賀地域、中南勢地域は、「ある(5年未満)」人ほど多い。

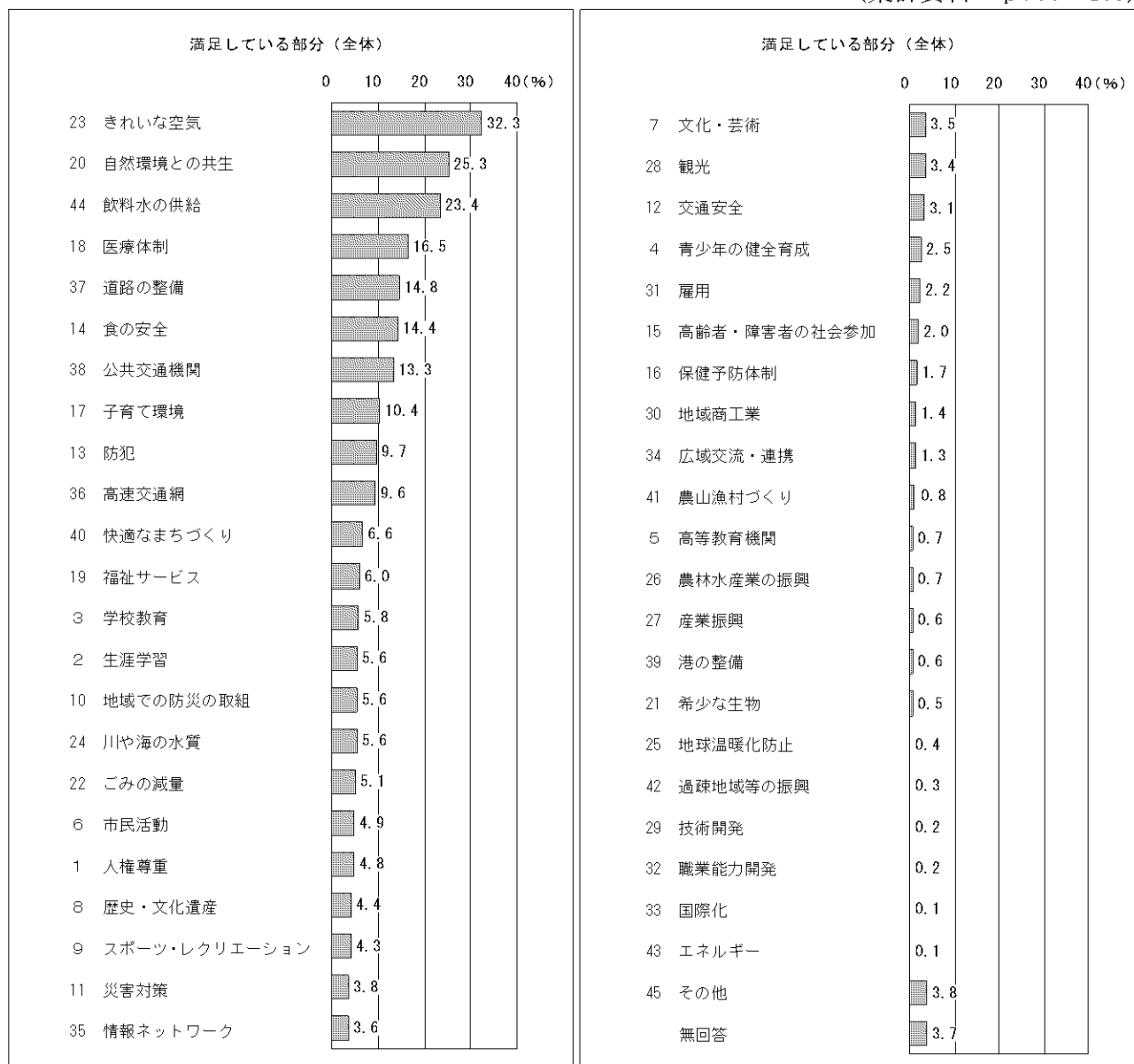
(2) 住みやすいと感じている点

【問2-1で、1または2に○をつけた方だけにおうかがいします】

問2-2 現在お住まいの地域が住みやすいと感じになるのは、問1の44項目のうち、どの部分に満足されているからですか。(回答は3つ選択式)

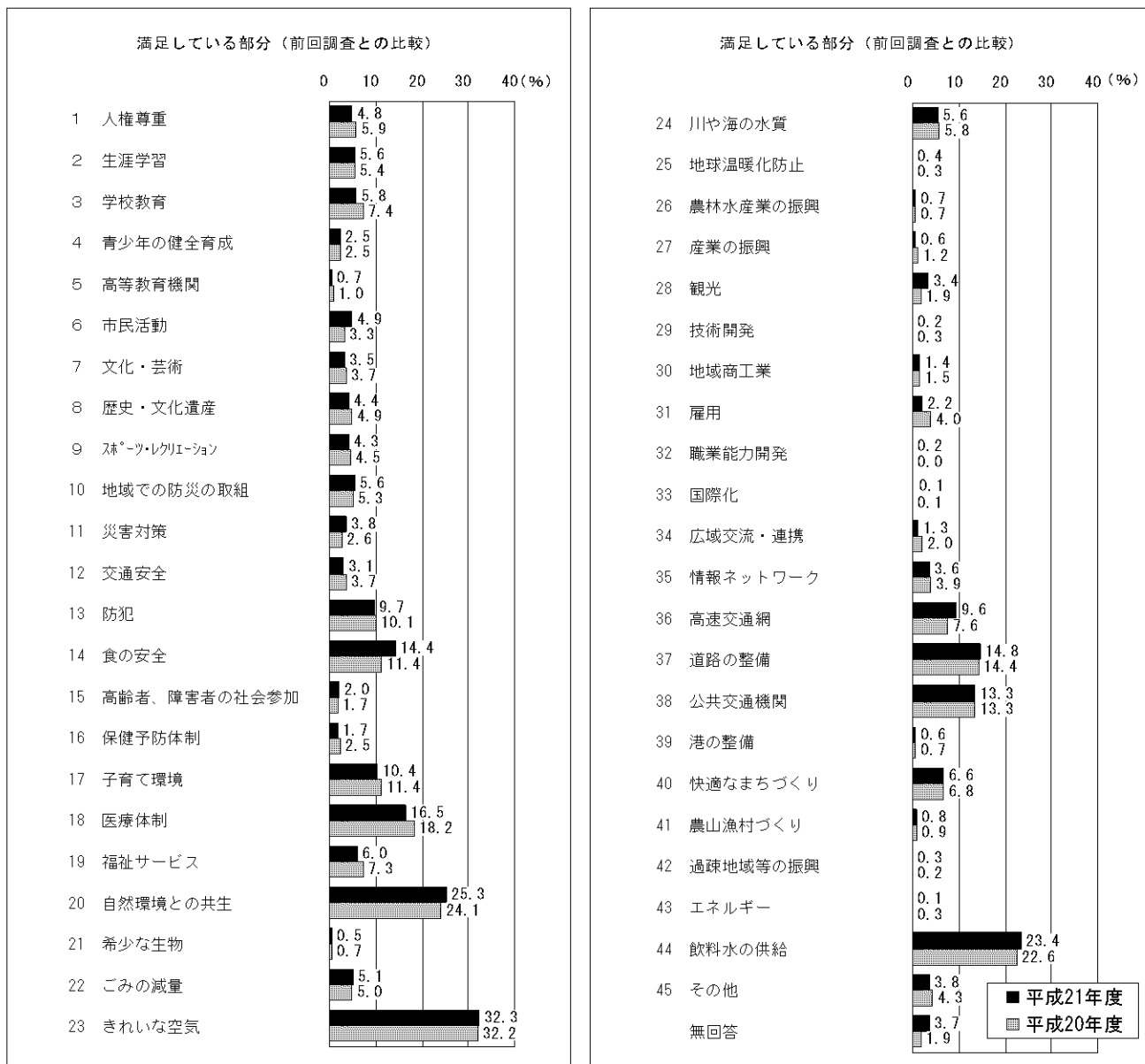
○全体

(集計資料 p.98~103)



住みやすいと感じている点については、「きれいな空気」が32.3%と最も多く、次いで「自然環境との共生」(25.3%)、「飲料水の供給」(23.4%)が2割台で、「医療体制」(16.5%)、「道路の整備」(14.8%)、「食の安全」(14.4%)、「公共交通機関」(13.3%)、「子育て環境」(10.4%)、が1割台で続いている。

○前回調査との比較



20年度と比較しても、大きな変化はみられない。

○年齢層別 上位5項目

(単位：%)

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23. きれいな空気 32.3	20. 自然環境との共生 25.3	44. 飲料水の供給 23.4	18. 医療体制 16.5	37. 道路の整備 14.8
20歳代	23. きれいな空気 32.0	20. 自然環境との共生 21.7	37. 道路の整備 20.5	44. 飲料水の供給 20.4	40. 快適なまちづくり 15.1
30歳代	17. 子育て環境 24.0	20. 自然環境との共生 21.8	23. きれいな空気 21.7	38. 公共交通機関 19.7	37. 道路の整備 17.5
40歳代	23. きれいな空気 30.7	20. 自然環境との共生 30.0	44. 飲料水の供給 20.1	17. 子育て環境 18.0	18. 医療体制 16.2
50歳代	23. きれいな空気 39.4	20. 自然環境との共生 30.4	44. 飲料水の供給 25.5	18. 医療体制 17.3	37. 道路の整備 15.8
60歳代	23. きれいな空気 32.4	44. 飲料水の供給 28.0	20. 自然環境との共生 24.2	18. 医療体制 16.8	14. 食の安全 15.9
70歳以上	23. きれいな空気 32.6	44. 飲料水の供給 24.3	18. 医療体制 21.1	14. 食の安全 20.1	20. 自然環境との共生 19.1

- ・ 全体の上位5項目では、「きれいな空気」「自然環境との共生」は全ての年齢層で上位5項目としてあげられており、「飲料水の供給」は30歳代を除いて、「医療体制」は40歳以上で、「道路の整備」は40歳代、60歳以上を除く年齢層で上位5項目にあげられている。
- ・ 上記以外の項目では、「子育て環境」が子育て世代である30歳代で第1位、40歳代でも第4位にあげられている。また、「食の安全」は60歳代で第5位、70歳以上でも第4位、「快適なまちづくり」は20歳代で第5位、「公共交通機関」は30歳代で第4位にあげられている。

○地域別 上位5項目

(単位：%)

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23. きれいな空気 32.3	20. 自然環境との共生 25.3	44. 飲料水の供給 23.4	18. 医療体制 16.5	37. 道路の整備 14.8
北勢地域	23. きれいな空気 25.5	44. 飲料水の供給 23.7	20. 自然環境との共生 22.4	38. 公共交通機関 19.0	37. 道路の整備 17.5
伊賀地域	23. きれいな空気 49.7	20. 自然環境との共生 33.9	44. 飲料水の供給 22.0	13. 防犯 14. 食の安全 12.3	37. 道路の整備 11.5
中南勢地域	23. きれいな空気 32.1	20. 自然環境との共生 25.4	44. 飲料水の供給 23.7	18. 医療体制 22.1	14. 食の安全 16.3
伊勢志摩地域	23. きれいな空気 39.0	20. 自然環境との共生 27.9	44. 飲料水の供給 21.0	14. 食の安全 20.8	13. 防犯 12.7
東紀州地域	23. きれいな空気 54.6	20. 自然環境との共生 33.6	44. 飲料水の供給 29.9	24. 川や海の水質 21.5	14. 食の安全 19.5

- ・ 全体の上位5項目では、「きれいな空気」「自然環境との共生」「飲料水の供給」が全地域で上位5項目としてあげられており、「道路の整備」は2地域で上位5位に入っており、「医療体制」は中南勢地域のみ入っている。
- ・ 上記以外の項目では、「食の安全」は4地域で、「防犯」は2地域、「公共交通機関」「川や海の水質」はそれぞれ1地域で上位5位までに入っている。

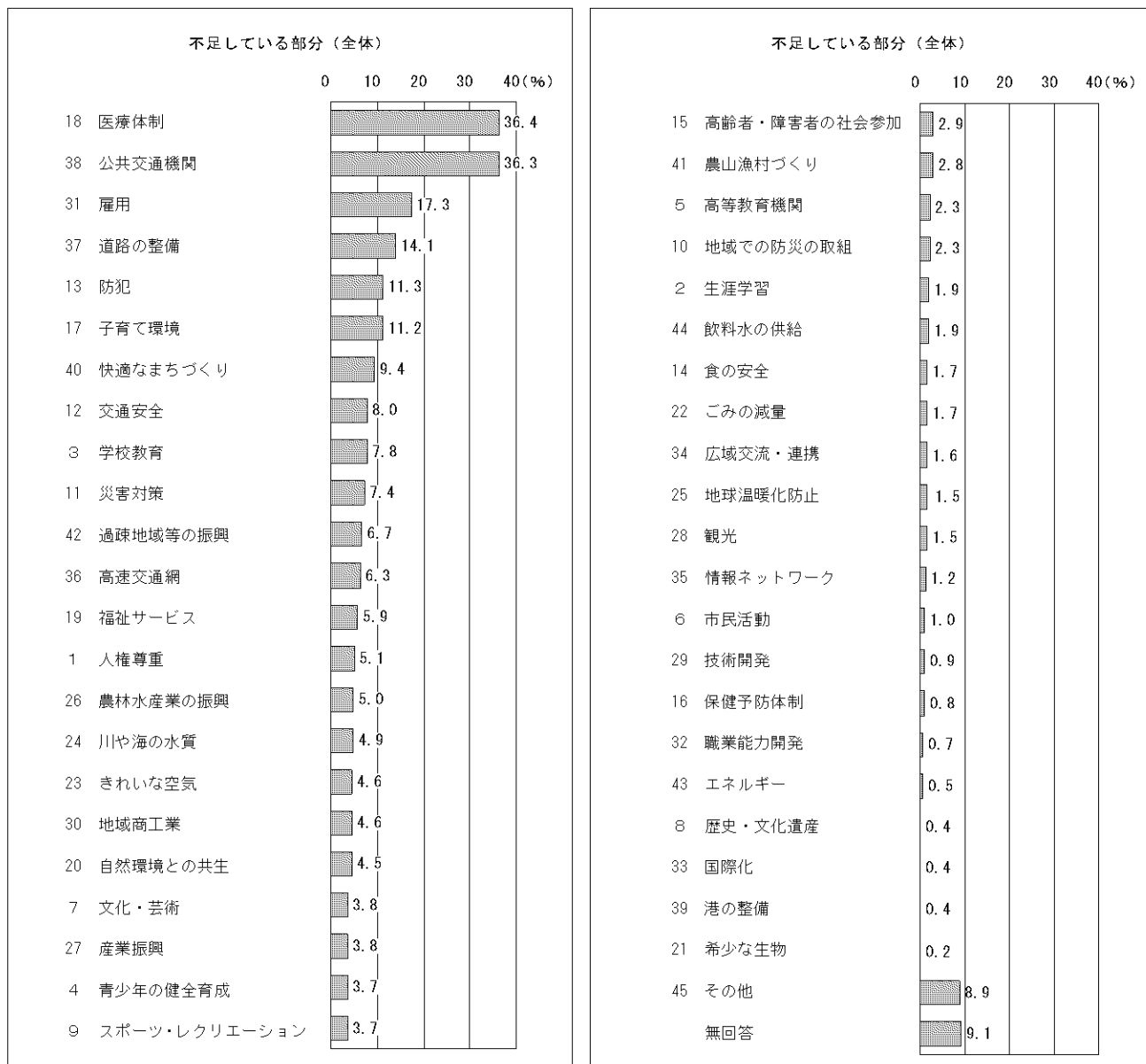
(3) 住みにくいと感じている点

【問2-1で、3または4に○をつけた方だけにおうかがいします】

問2-3 現在お住まいの地域が住みにくいとお感じになるのは、問1の44項目のうち、どの部分が不足しているからですか。(回答は3つ選択式)

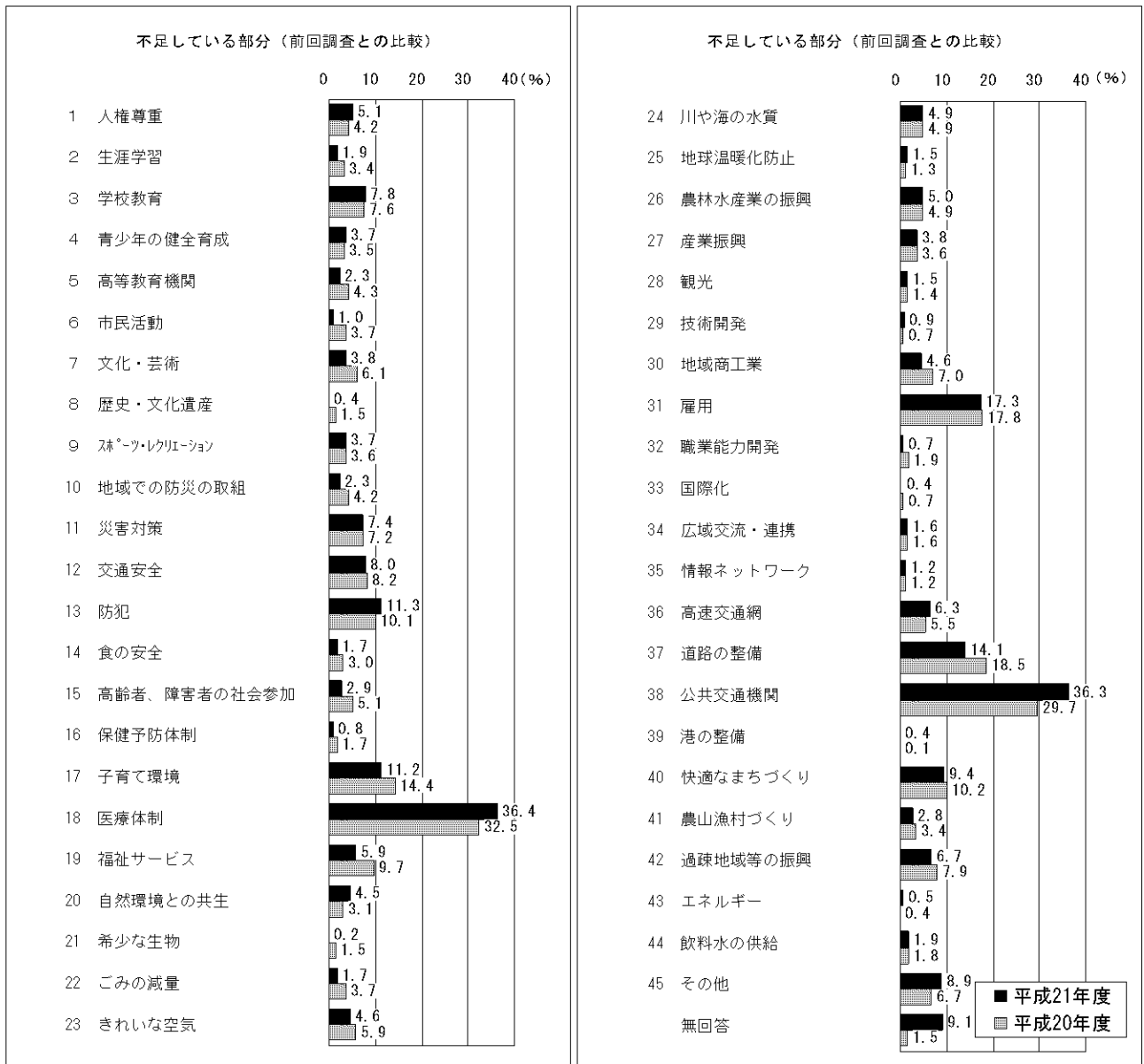
○全体

(集計資料 p.104~109)



住みにくいと感じている点については、「医療体制」(36.4%)、「公共交通機関」(36.3%)が多く、これらに次いで「雇用」(17.3%)、「道路の整備」(14.1%)、「防犯」(11.3%)、「子育て環境」(11.2%)が1割台が続いている。

○前回調査との比較



20年度と比較すると、「公共交通機関」が6.6ポイント、「医療体制」が3.9ポイント、増加している。一方、「道路の整備」4.4ポイント、「福祉サービス」3.8ポイント、「子育て環境」3.2ポイント減少している。

○年齢層別 上位5項目

(単位：%)

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18. 医療体制 36.4	38. 公共交通機関 36.3	31. 雇用 17.3	37. 道路の整備 14.1	13. 防犯 11.3
20歳代	38. 公共交通機関 35.4	18. 医療体制 30.8	31. 雇用 14.8	12. 交通安全 13.9	13. 防犯 13.4
30歳代	18. 医療体制 34.4	38. 公共交通機関 31.9	17. 子育て環境 25.1	31. 雇用 18.4	37. 道路の整備 14.0
40歳代	38. 公共交通機関 43.0	18. 医療体制 28.7	31. 雇用 21.1	37. 道路の整備 16.1	17. 子育て環境 13.8
50歳代	38. 公共交通機関 41.2	18. 医療体制 39.5	31. 雇用 21.9	37. 道路の整備 12.1	26. 農林水産業の振興 10.2
60歳代	18. 医療体制 46.1	38. 公共交通機関 31.9	37. 道路の整備 18.2	13. 防犯 14.5	31. 雇用 13.1
70歳以上	18. 医療体制 33.5	38. 公共交通機関 29.8	13. 防犯 13.8	11. 災害対策 42. 過疎地域等の振興 12.3	37. 道路の整備 11.4

- ・ 全体の上位5項目では、「医療体制」「公共交通機関」が全ての年齢層で上位5項目にあげられている。また、「雇用」は20～60歳代で、「道路の整備」は30～70歳以上で、「防犯」は20歳代、60～70歳以上で上位5項目にあげられている。
- ・ 上記以外の項目では、「子育て環境」が子育て世代である30～40歳代で、「交通安全」が20歳代で、「農林水産業の振興」が50歳代で、「災害対策」「過疎地域等の振興」が70歳以上で、上位5位までに入っている。

○地域別 上位5項目

(単位：%)

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18. 医療体制 36.4	38. 公共交通機関 36.3	31. 雇用 17.3	37. 道路の整備 14.1	13. 防犯 11.3
北勢地域	38. 公共交通機関 40.0	18. 医療体制 26.7	13. 防犯 14.3	40. 快適なまちづくり 12.4	17. 子育て環境 31. 雇用 10.5
伊賀地域	18. 医療体制 53.8	38. 公共交通機関 39.2	31. 雇用 17.5	37. 道路の整備 11.7	19. 福祉サービス 9.9
中南勢地域	38. 公共交通機関 39.0	18. 医療体制 25.0	13. 防犯 17.9	31. 雇用 14.0	17. 子育て環境 37. 道路の整備 13.0
伊勢志摩地域	18. 医療体制 55.8	31. 雇用 33.3	38. 公共交通機関 25.8	37. 道路の整備 16.7	17. 子育て環境 12.5
東紀州地域	18. 医療体制 52.5	31. 雇用 33.3	36. 高速交通網 23.5	38. 公共交通機関 22.2	37. 道路の整備 42. 過疎地域等の振興 16.0

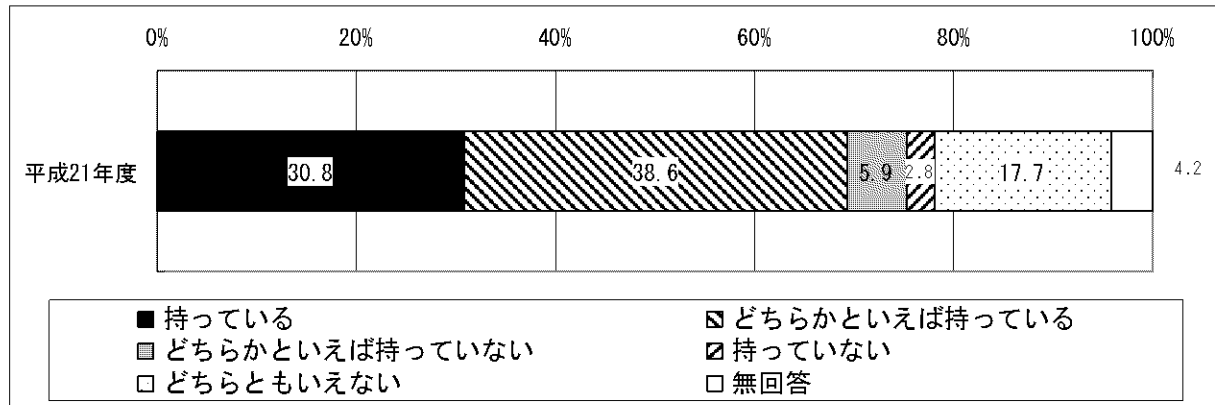
- ・ 全体の上位5項目では、「医療体制」「公共交通機関」「雇用」「道路の整備」が全地域で上位5項目としてあげられており、「防犯」は2地域で上位5位までに入っている。
- ・ 上記以外の項目では、「子育て環境」は3地域で、「快適なまちづくり」は北勢地域で、「福祉サービス」は伊賀地域で、「高速交通網」「過疎地域等の振興」は東紀州地域で上位5位までに入っている。

(4) お住まいの地域の愛着についての評価

問2-4 現在お住まいの地域に愛着をお持ちですか。(回答は単一選択式)

○全体

(集計資料 p.110)

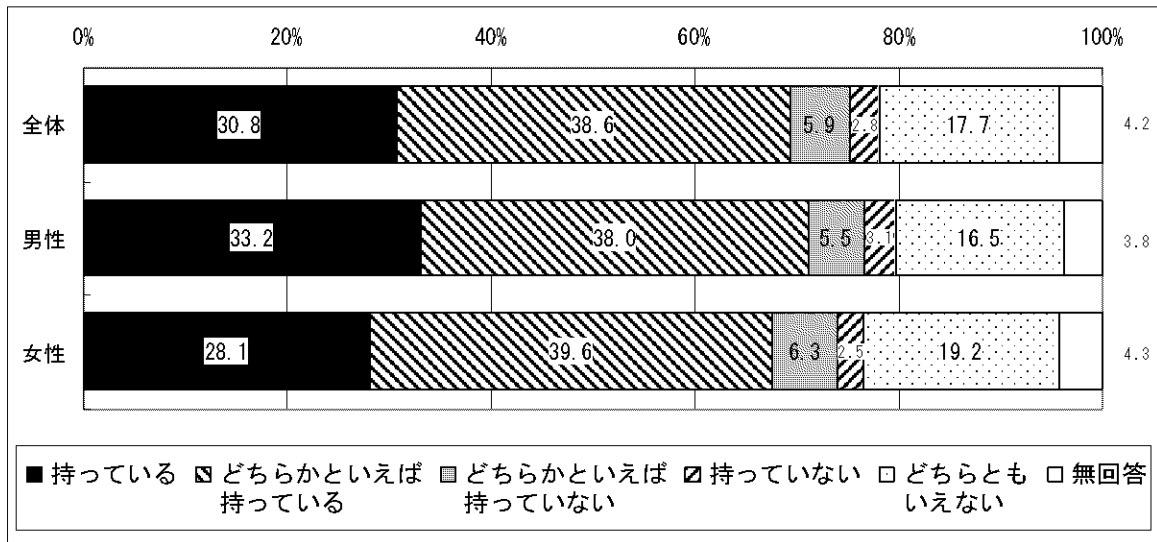


「持っている」(30.8%)、「どちらかといえば持っている」(38.6%)を合わせた“持っている”と答えた人が約7割(69.4%)を占めている。

一方、「持っていない」(2.8%)、「どちらかといえば持っていない」(5.9%)を合わせた“持っていない”と答えた人は1割弱(8.7%)である。

○性別

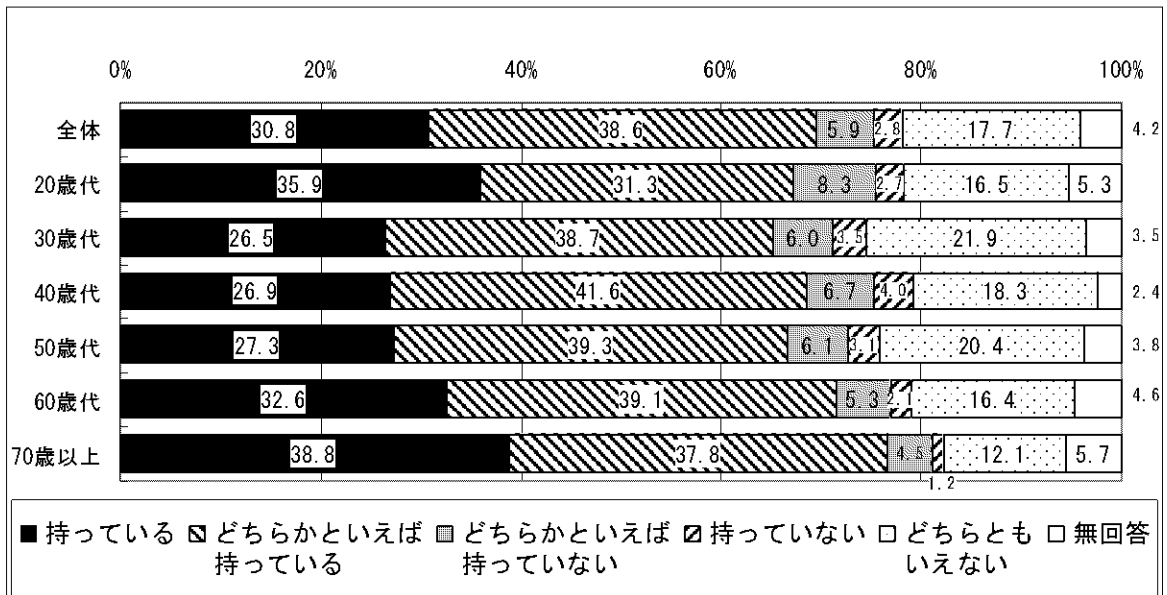
(集計資料 p.110)



“持っている”と答えた人は、男性が71.2%、女性が67.7%と男性の方がやや多くなっている。

○年齢層別

(集計資料 p.110)

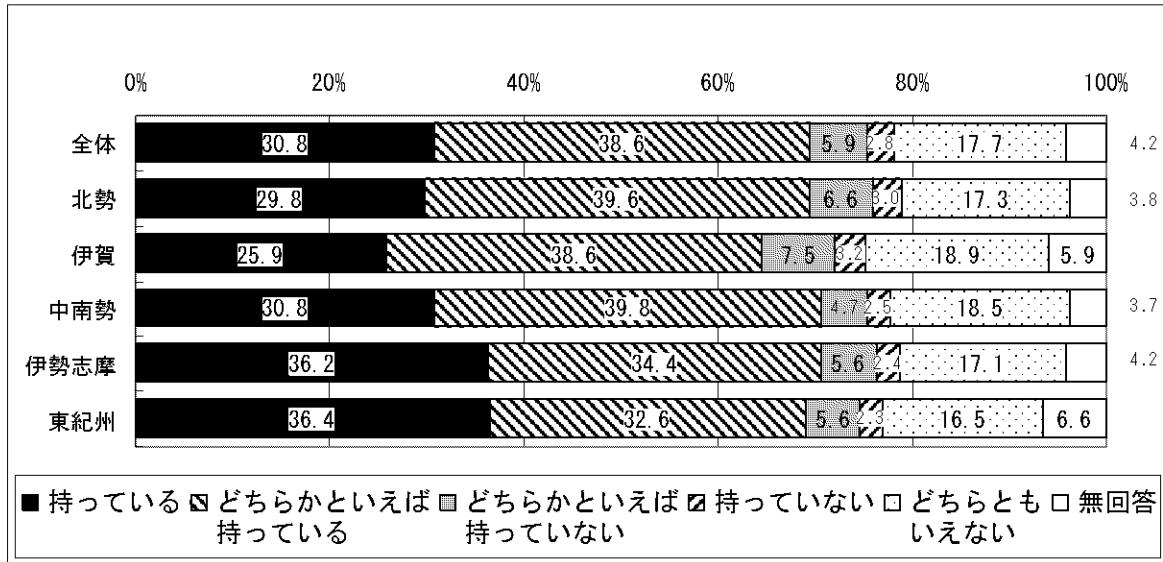


「持っている」と答えた人は、20歳代(35.9%)、60歳代(32.6%)、70歳以上(38.8%)で3割以上となっている。

また、“持っている”と答えた人は、20～50歳代では7割弱と大きな差はないが、60歳以上では7割を超えている。

○地域別

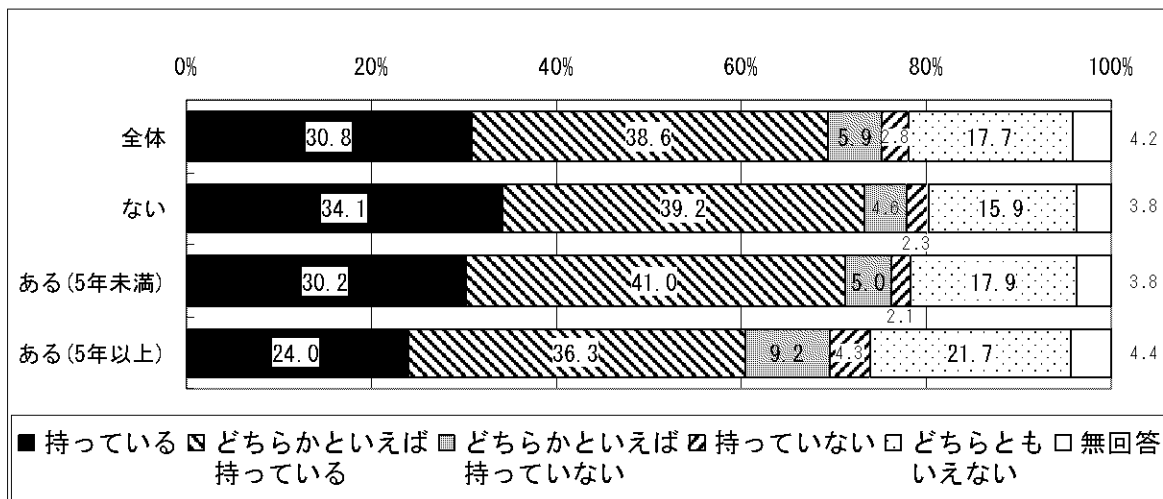
(集計資料 p.110)



「持っている」と答えた人は、伊勢志摩地域（36.2%）、東紀州地域（36.4%）で多くなっている。“持っている”と答えた人は、ほとんどの地域で7割前後だが、伊賀地域はやや低くなっている。

○県外在住の経験別

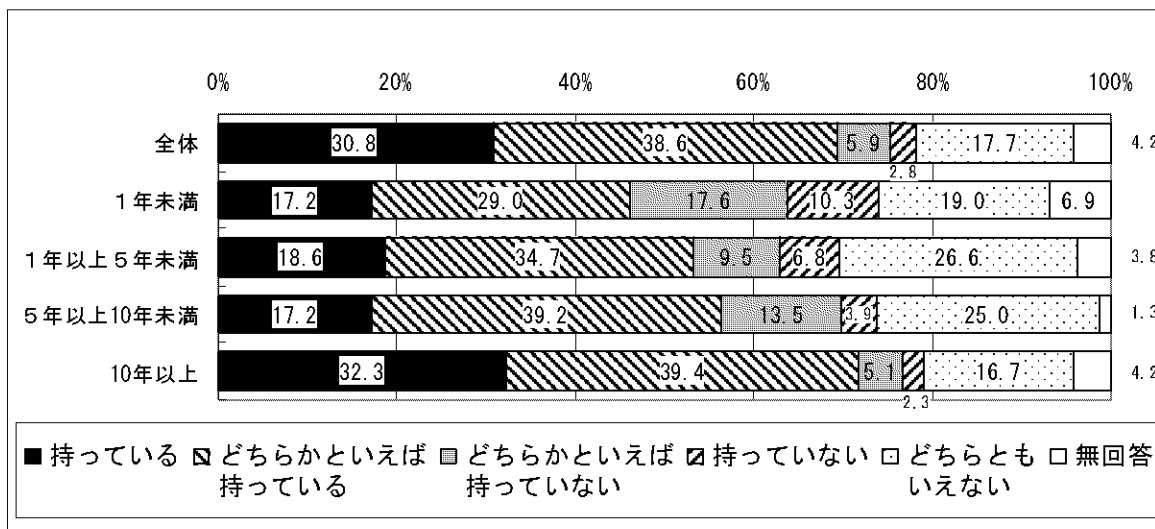
(集計資料 p.110)



“持っている”と答えた人は、県外在住経験が「ない」人が73.3%で最も多く、「ある（5年未満）」、「ある（5年以上）」の順で少なくなっている。

○居住年数別

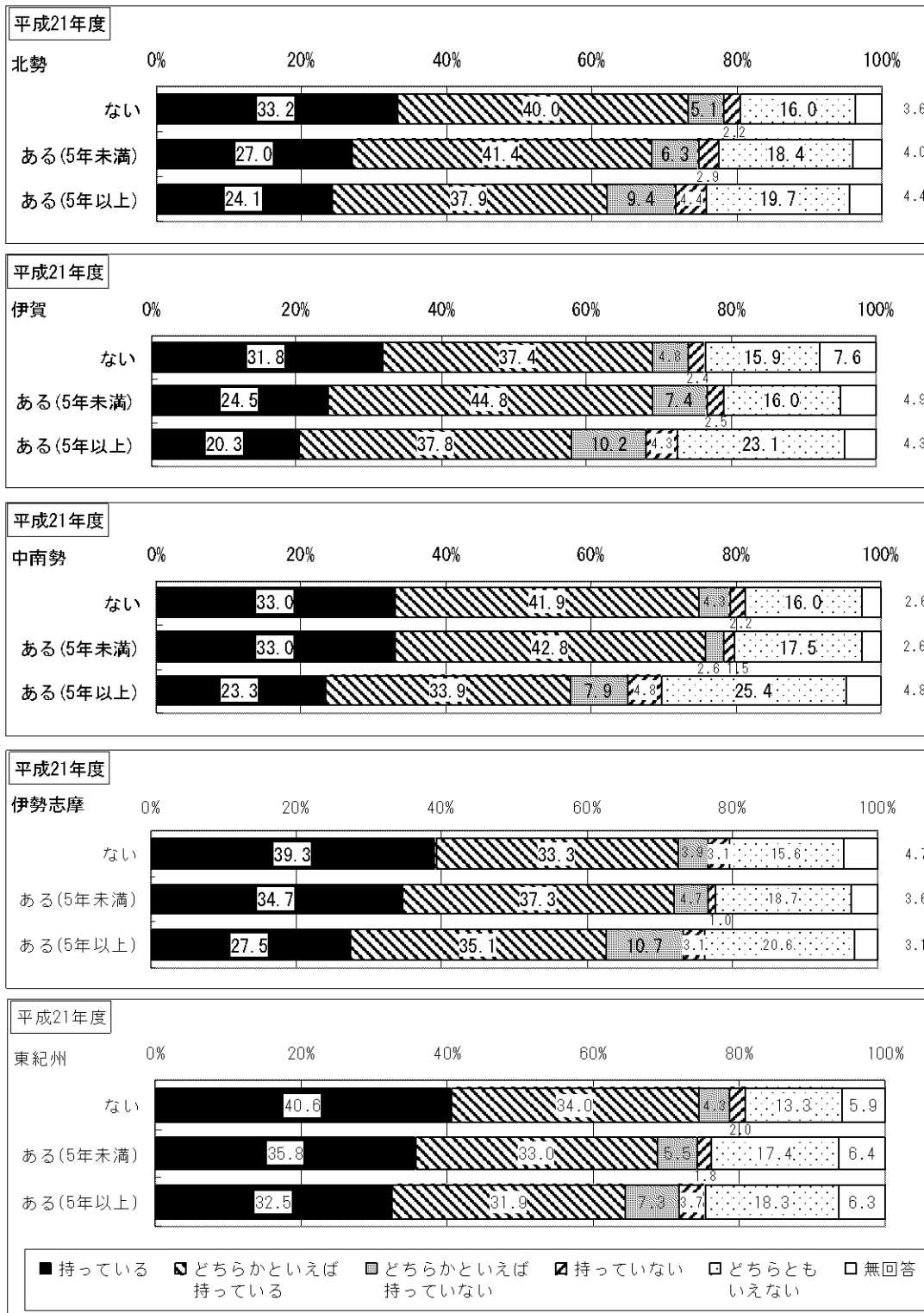
(集計資料 p.110)



“持っている”と答えた人は、居住年数が長くなるにつれて多くなっている。「1年未満」と「10年以上」とでは25.5ポイントのひらきがある。

○地域・県外在住経験別

(集計資料 p.111)



「持っている」と答えた人は、中南勢地域を除く全ての地域で、県外在住経験が「ない」人が最も多く、「ある（5年未満）」、「ある（5年以上）」の順で少なくなる。「持っている」と答えた人は、北勢地域、東紀州地域は「ない」人が最も多く、「ある（5年未満）」、「ある（5年以上）」の順で少なくなっている。伊賀地域、中南勢地域、伊勢志摩地域は、「ない」、「ある（5年未満）」がほぼ同じ程度に多く、「ある（5年以上）」では少なくなっている。

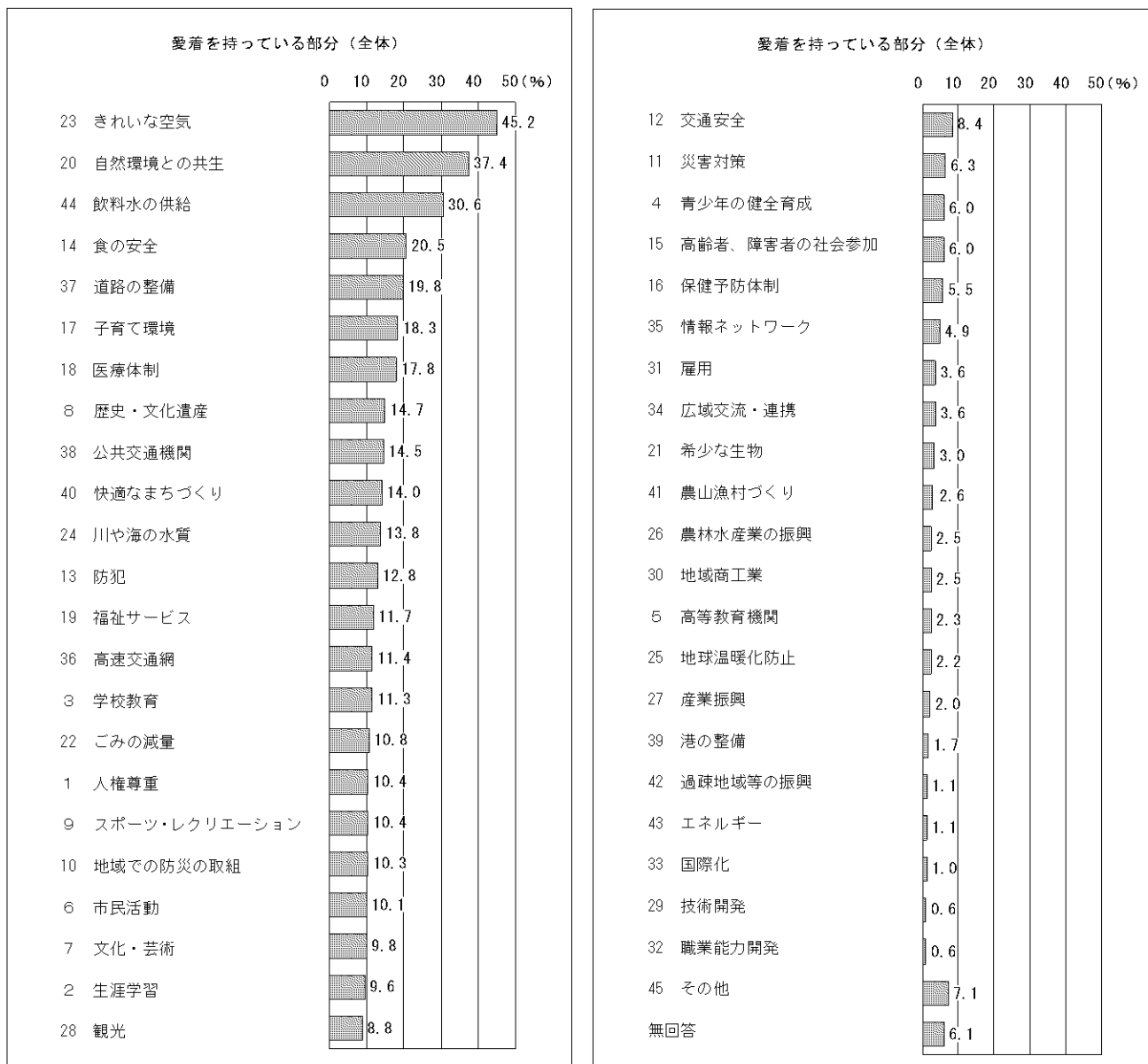
(5) 愛着を持っていると感じる点

【問2-4で、1または2に○をつけた方だけにおうかがいします】

問2-5 現在お住まいの地域に愛着を持っていると感じになるのは、問1の44項目のうち、どの項目によるものですか。(回答は複数選択式)

○全体

(集計資料 p.112~117)



愛着を持っていると感じる点については、「きれいな空気」(45.2%)が最も多く、次いで「自然環境との共生」(37.4%)、「飲料水の供給」(30.6%)、「食の安全」(20.5%)、「道路の整備」(19.8%)と続いている。

○年齢層別 上位5項目

(単位：%)

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23.きれいな空気 45.2	20.自然環境との共生 37.4	44.飲料水の供給 30.6	14.食の安全 20.5	37.道路の整備 19.8
20歳代	23.きれいな空気 43.7	20.自然環境との共生 42.0	44.飲料水の供給 25.0	28.観光 21.0	14.食の安全 19.3
30歳代	23.きれいな空気 34.2	17.子育て環境 31.3	20.自然環境との共生 28.3	44.飲料水の供給 23.4	38.公共交通機関 19.4
40歳代	23.きれいな空気 44.5	20.自然環境との共生 43.3	17.子育て環境 26.9	44.飲料水の供給 24.5	37.道路の整備 18.7
50歳代	23.きれいな空気 52.2	20.自然環境との共生 44.8	44.飲料水の供給 32.3	37.道路の整備 19.4	14.食の安全 19.0
60歳代	23.きれいな空気 47.6	20.自然環境との共生 36.8	44.飲料水の供給 36.3	14.食の安全 21.7	37.道路の整備 20.6
70歳以上	23.きれいな空気 42.5	44.飲料水の供給 33.6	14.食の安全 28.7	18.医療体制 27.3	20.自然環境との共生 27.0

- ・ 全体の上位5項目をみると、全ての年代で「きれいな空気」が第1位となっている。「自然環境との共生」「飲料水の供給」は全ての年齢層で上位5項目としてあげられており、「食の安全」は20歳代、50～70歳以上、「道路の整備」は40～60歳代で上位5項目にあげられている。
- ・ 上記以外の項目では、「子育て環境」が子育て世代である30歳代で第2位、40歳代でも第3位にあげられている。また、「観光」は20歳代で第4位、「公共交通機関」は30歳代で第5位、「医療体制」は70歳以上で第4位にあげられている。

○地域別 上位5項目

(単位：%)

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23.きれいな空気 45.2	20.自然環境との共生 37.4	44.飲料水の供給 30.6	14.食の安全 20.5	37.道路の整備 19.8
北勢地域	23.きれいな空気 36.5	20.自然環境との共生 35.1	44.飲料水の供給 32.8	37.道路の整備 23.9	17.子育て環境 38.公共交通機関 19.8
伊賀地域	23.きれいな空気 62.3	20.自然環境との共生 47.4	44.飲料水の供給 29.7	14.食の安全 23.6	08.歴史・文化遺産 19.2
中南勢地域	23.きれいな空気 45.0	20.自然環境との共生 36.2	44.飲料水の供給 28.9	18.医療体制 22.9	14.食の安全 21.7
伊勢志摩地域	23.きれいな空気 55.5	20.自然環境との共生 37.8	44.飲料水の供給 36.3	14.食の安全 25.2	24.川や海の水質 22.4
東紀州地域	23.きれいな空気 67.1	20.自然環境との共生 48.1	24.川や海の水質 35.6	44.飲料水の供給 34.0	14.食の安全 24.8

- ・ 全体の上位5項目をみると、「きれいな空気」「自然環境との共生」は全ての地域で第1位、第2位となっている。さらに、「飲料水の供給」が全地域で上位5項目としてあげられている。「食の安全」は北勢地域を除いた4地域で、また「道路の整備」は北勢地域のみで上位5項目に入っている。
- ・ 上記以外の項目では、「川や海の水質」は伊勢志摩地域、東紀州地域で、「子育て環境」「公共交通機関」は北勢地域で、「歴史・文化遺産」は伊賀地域で、「医療体制」は中南勢地域で上位5項目までに入っている。

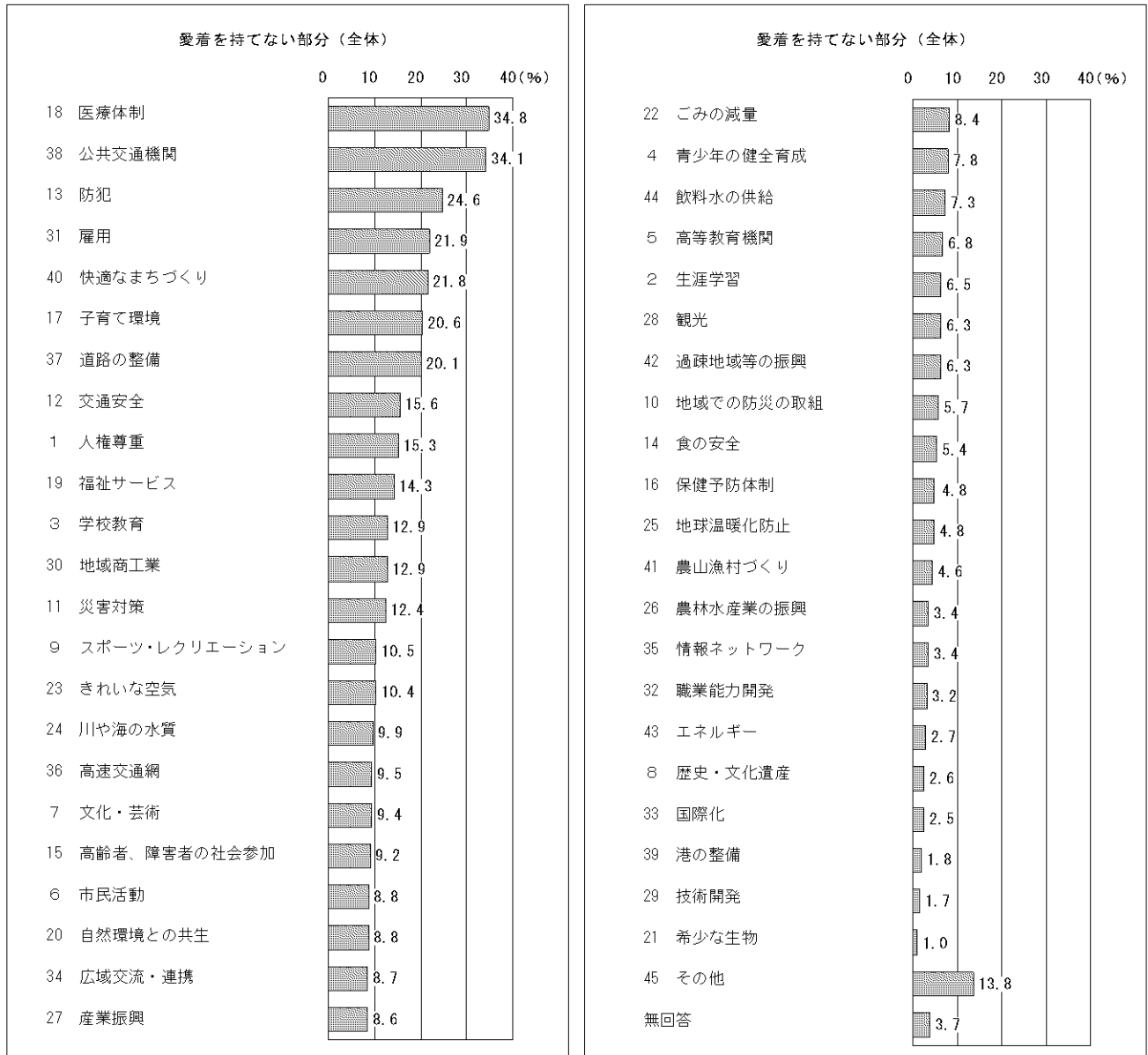
(6) 愛着を持たないと感じる点

【問2-4で、4または5に○をつけた方だけにおうかがいします】

問2-6 現在お住まいの地域に愛着を持たないと感じになるのは、問1の44項目のうち、どの項目によるものですか。(回答は複数選択式)

○全体

(集計資料 p.118~123)



愛着を持たないと感じる点については、「医療体制」(34.8%)、「公共交通機関」(34.1%)が3割以上を占め、これらに次いで、「防犯」(24.6%)、「雇用」(21.9%)、「快適なまちづくり」(21.8%)、「子育て環境」(20.6%)、「道路の整備」(20.1%)が2割台で続いている。

○年齢層別 上位5項目

(単位：%)

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18. 医療体制 34.8	38. 公共交通機関 34.1	13. 防犯 24.6	31. 雇用 21.9	40. 快適なまちづくり 21.8
20歳代	18. 医療体制 33.1	38. 公共交通機関 31.0	17. 子育て環境 30.6	31. 雇用 29.2	37. 道路の整備 28.5
30歳代	17. 子育て環境 40.6	18. 医療体制 39.6	38. 公共交通機関 37.3	31. 雇用 26.8	30. 地域商工業 23.8
40歳代	38. 公共交通機関 40.5	31. 雇用 26.2	37. 道路の整備 24.0	13. 防犯 22.3	40. 快適なまちづくり 22.0
50歳代	18. 医療体制 41.1	38. 公共交通機関 31.6	31. 雇用 30.7	40. 快適なまちづくり 25.8	13. 防犯 25.6
60歳代	18. 医療体制 39.0	13. 防犯 30.7	38. 公共交通機関 27.3	15. 高齢者、障害者の社会参加 20.1	01. 人権尊重 18.8
70歳以上	38. 公共交通機関 39.0	18. 医療体制 35.6	40. 快適なまちづくり 27.4	20. 自然環境との共生 26.5	01. 人権尊重 24.0

- ・ 全体の上位5項目では、「公共交通機関」が全年代で上位5項目としてあげられており、「医療体制」は40歳代を除くほとんどの年齢層で、「防犯」は40～60歳代で、「雇用」は20～50歳代、「快適なまちづくり」は40～50歳代、70歳代以上で上位5項目にあげられている。
- ・ 上記以外の項目では、「子育て環境」が20～30歳代で、「道路の整備」が20歳代、40歳代で、「人権尊重」が60歳以上で、「地域商工業」が30歳代、「高齢者、障害者の社会参加」が60歳代、「自然環境との共生」70歳以上でそれぞれ上位5項目にあげられている。

○地域別 上位5項目

(単位：%)

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18. 医療体制 34.8	38. 公共交通機関 34.1	13. 防犯 24.6	31. 雇用 21.9	40. 快適なまちづくり 21.8
北勢地域	38. 公共交通機関 36.4	18. 医療体制 29.9	13. 防犯 28.6	40. 快適なまちづくり 23.4	17. 子育て環境 37. 道路の整備 19.5
伊賀地域	18. 医療体制 60.9	31. 雇用 41.4	38. 公共交通機関 34.5	17. 子育て環境 27.6	13. 防犯 25.3
中南勢地域	38. 公共交通機関 28.3	13. 防犯 25.0	01. 人権尊重 18. 医療体制 40. 快適なまちづくり 20.0	37. 道路の整備 18.3	12. 交通安全 17. 子育て環境 30. 地域商工業 16.7
伊勢志摩地域	18. 医療体制 45.8	31. 雇用 44.1	38. 公共交通機関 35.6	17. 子育て環境 25.4	19. 福祉サービス 37. 道路の整備 22.0
東紀州地域	18. 医療体制 69.1	36. 高速交通網 40.0	31. 雇用 38.2	38. 公共交通機関 34.5	37. 道路の整備 30.9

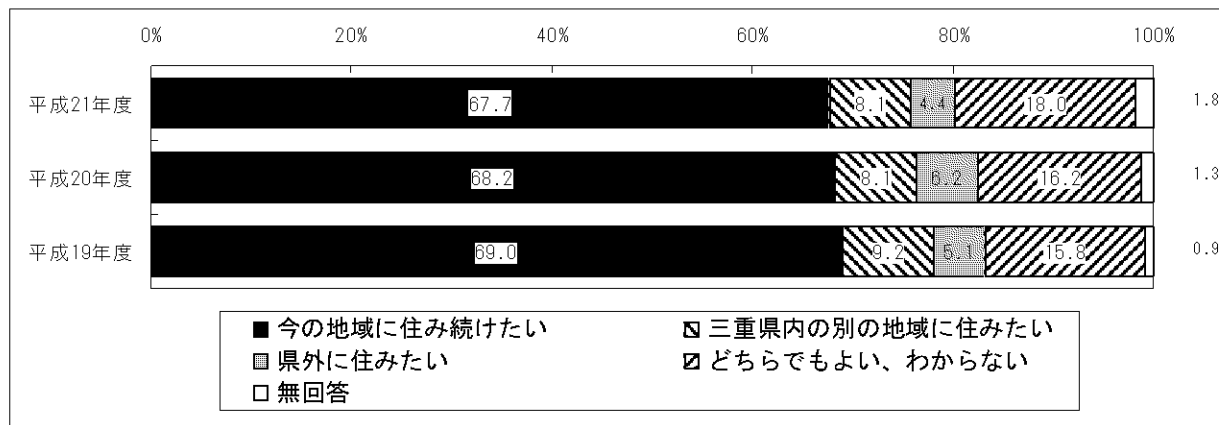
- ・ 全体の上位5項目では、「医療体制」「公共交通機関」が全地域で上位5項目としてあげられており、「雇用」「防犯」は3地域で、「快適なまちづくり」は2地域で上位5項目に入っている。
- ・ 上記以外の項目では、「子育て環境」は東紀州地域を除く4地域で、「道路の整備」は伊賀地域を除く4地域で、「人権尊重」「交通安全」「地域商工業」は中南勢地域で、「福祉サービス」は伊勢志摩地域で、「高速交通網」は東紀州地域で上位5位までに入っている。

(7) 今後の定住意向

問2-7 あなたは今後も現在の地域に住みたいと思いますか。(回答は単一選択式)

○全体

(集計資料 p.124)



平成21年度

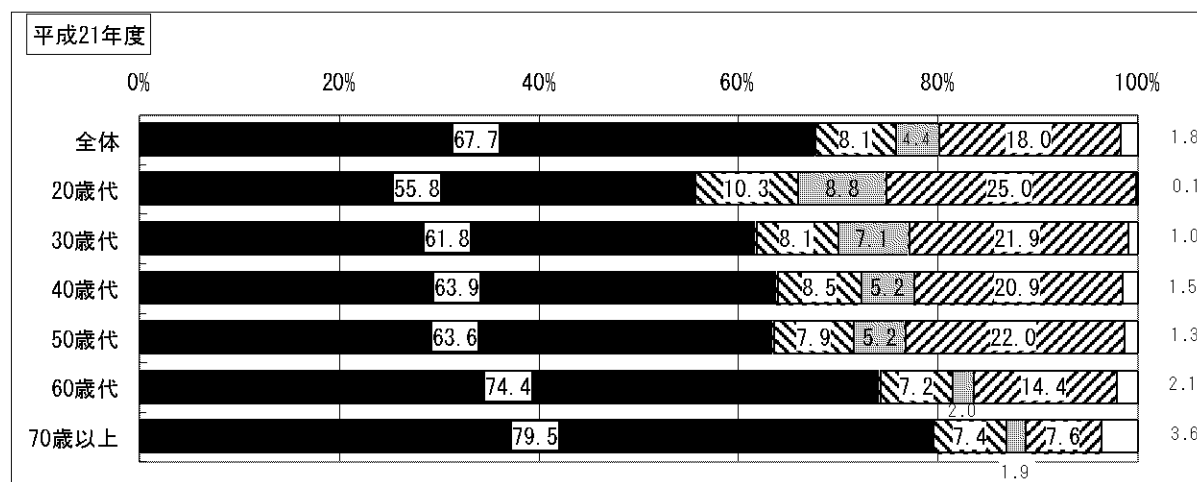
全体では、「今の地域に住み続けたい」と答えた人が67.7%と最も多くなっている。また、「三重県内の別の地域に住みたい」が8.1%、「県外に住みたい」が4.4%となっている。

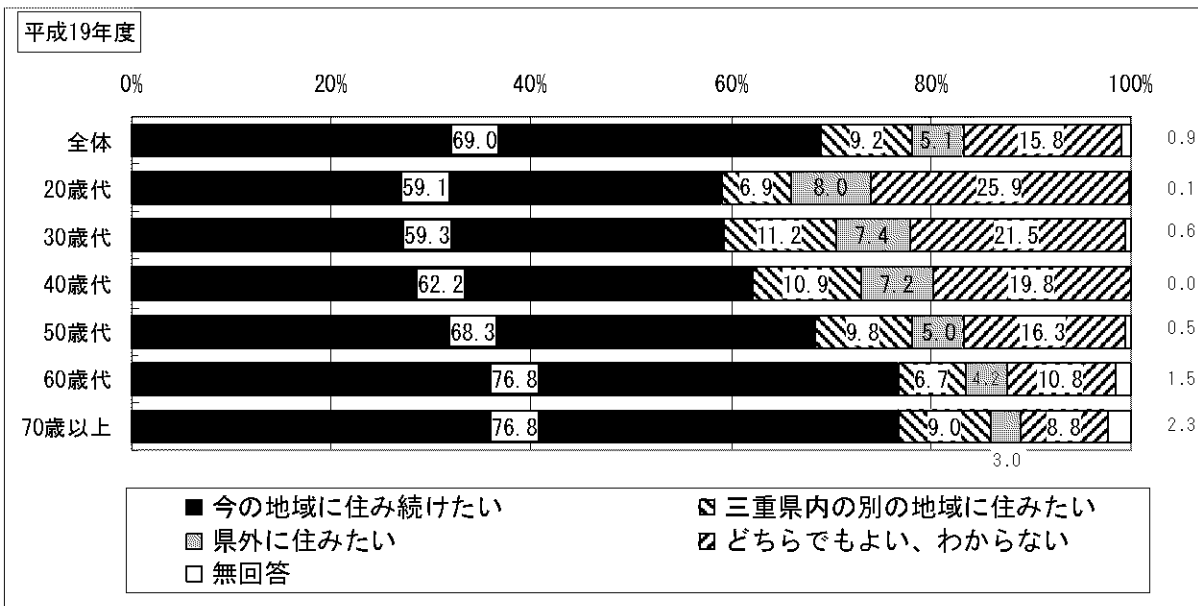
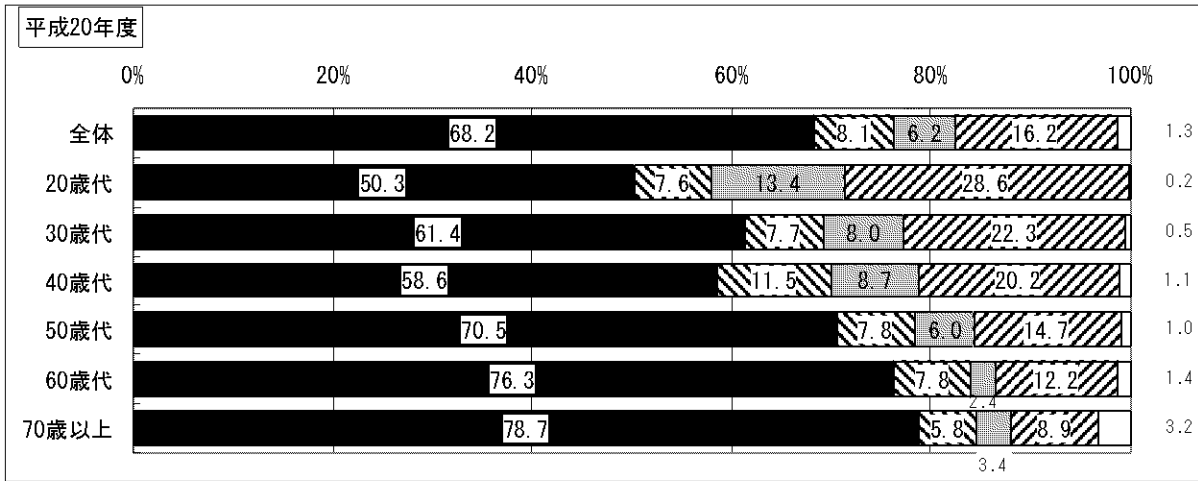
平成19年度、平成20年度との比較

「今の地域に住み続けたい」は19年度から21年度にかけては、大きな変化はみられないが緩やかに減少している。

○年齢層別

(集計資料 p.124)





平成21年度

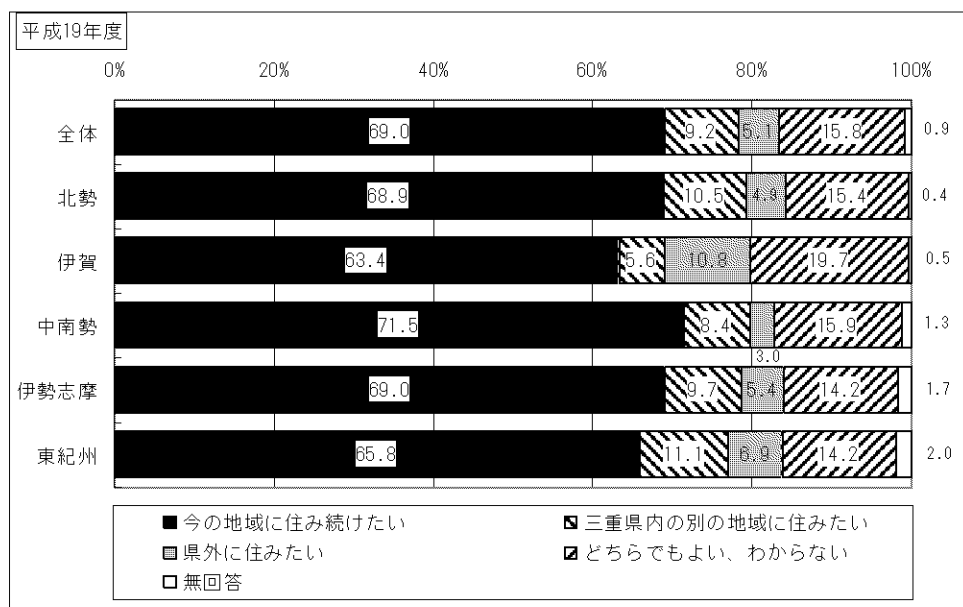
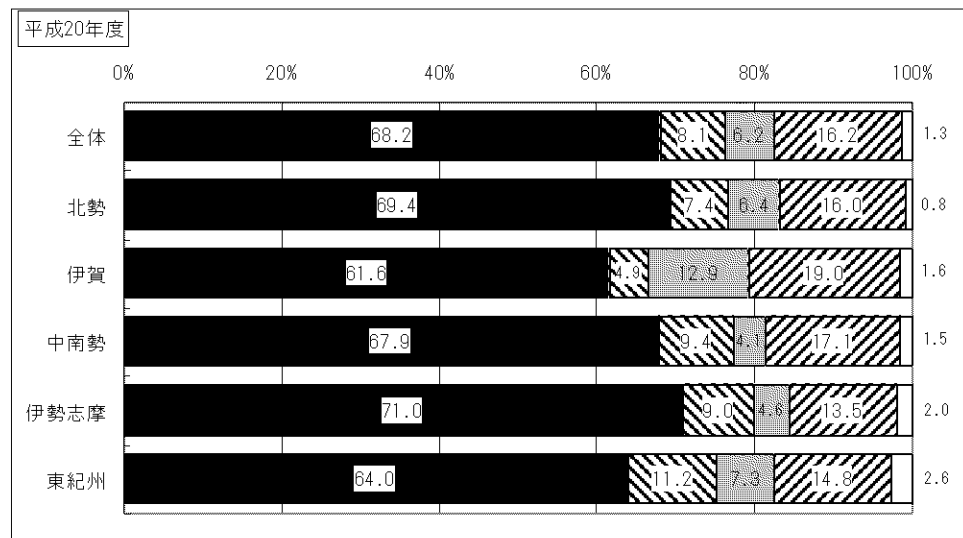
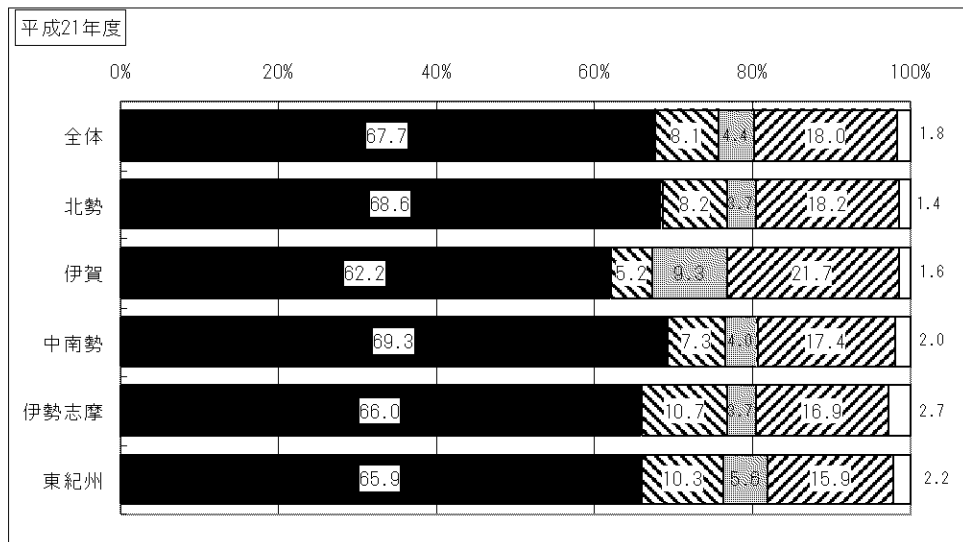
年齢層別では、「今この地域に住みたい」と答えた人は、60歳以上で7割以上を占めているのに対し、30～50歳代では6割、20歳代では5割と少なくなっている。

平成19年度、平成20年度との比較

「今この地域に住みたい」は19年度から20年度にかけては、20歳代では8.8ポイント減少している。20年度から21年度にかけては50歳代、60歳代を除く年代で増加している。

○地域別

(集計資料 p.124)



平成 21 年度

地域別では、「今の地域に住み続けたい」と答えた人は、伊賀地域（62.2%）が他地域に比べやや少ないのに対し、「県外に住みたい」は伊賀地域（9.3%）で最も多くなっている。

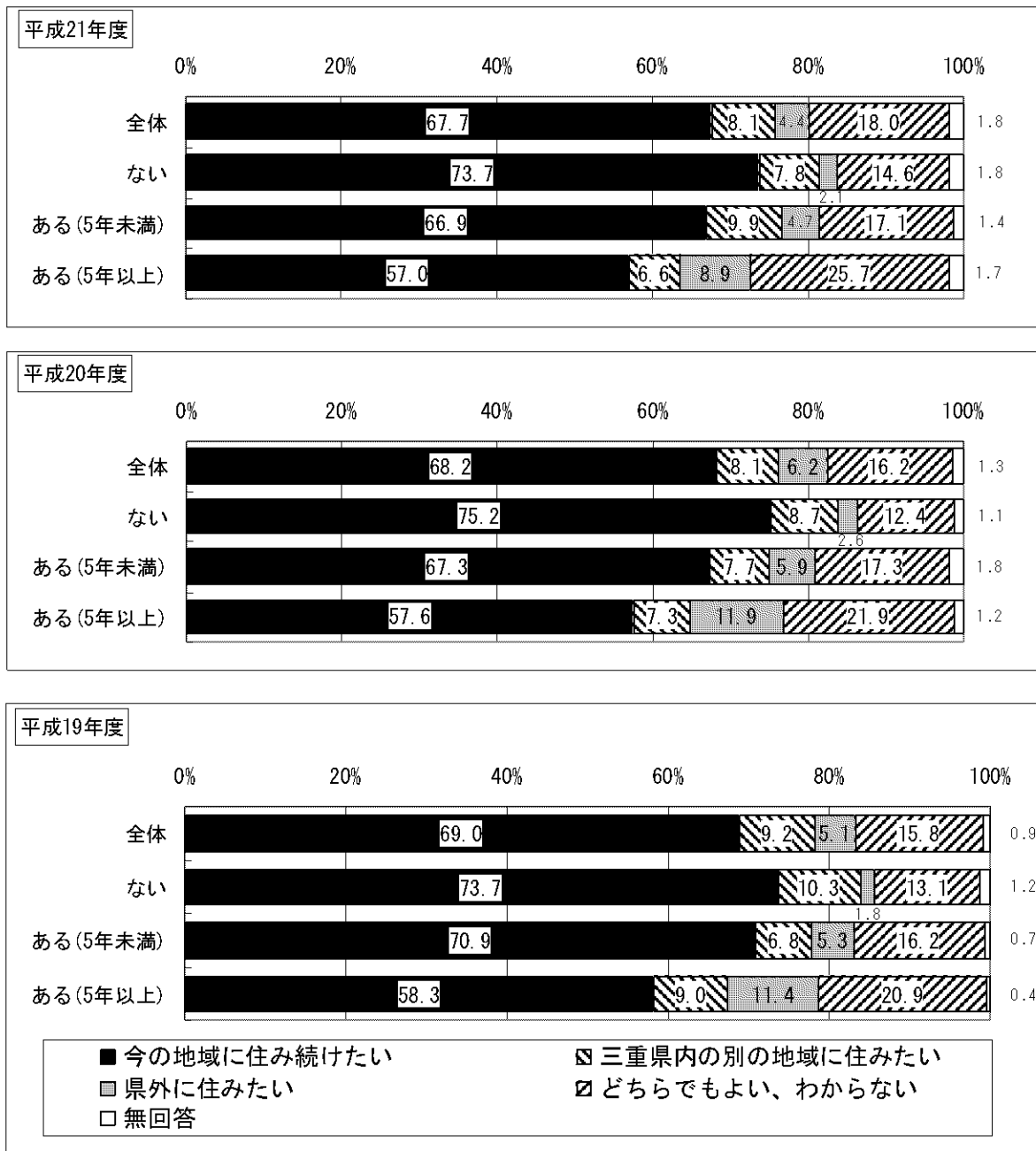
平成 19 年度、平成 20 年度との比較

「今の地域に住み続けたい」と答えた人は、19 年度から 20 年度にかけては、大きな変化はみられない。20 年度から 21 年度にかけては、伊勢志摩地域では 5 ポイント減少している。

その他の地域では、大きな変化はみられない。

○県外在住の経験別

(集計資料 p.124)



平成 21 年度

県外在住経験別では、「今の地域に住み続けたい」と答えた人は、県外在住経験が「ある」人に比べ「ない」人の方が多くなっている。

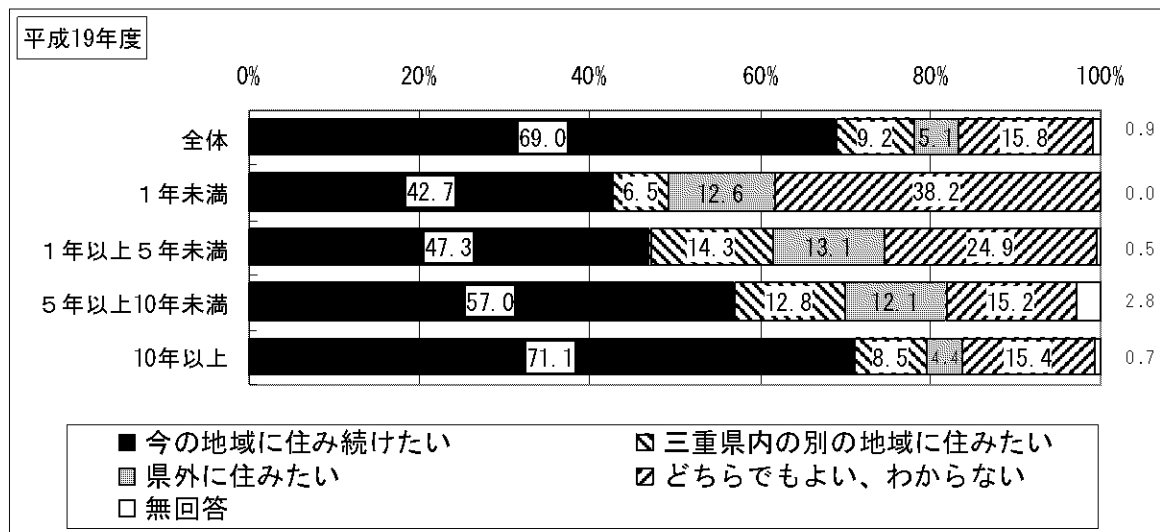
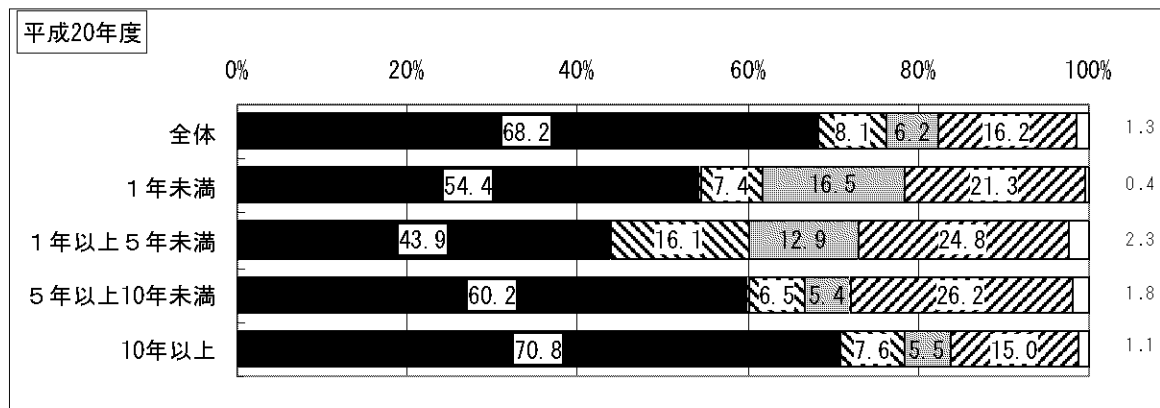
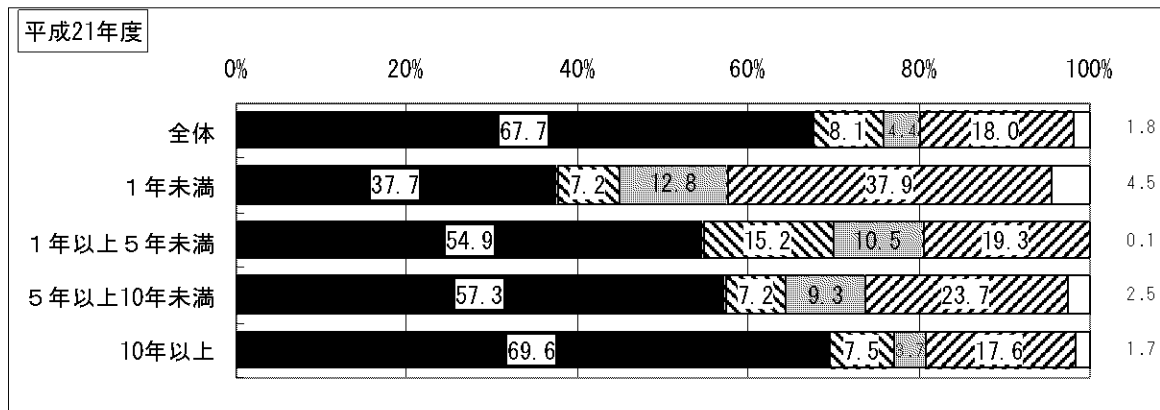
平成 19 年度、平成 20 年度との比較

「今の地域に住み続けたい」と答えた人は、3年間とも「ない」人が最も多く、「ある（5年未満）」、「ある（5年以上）」の順で少なくなる傾向がある。

19年度から20年度にかけては、県外在住経験がない人は増加しているのに対し、「ある」人は減少している。また、20年度から21年度にかけては、県外在住経験が「ない」人、「ある」人ともに減少している。

○居住年数別

(集計資料 p.124)



平成21年度

居住年数別では、「今の地域に住みたい」と答えた人は「10年以上」が69.6%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」(57.3%)、「1年以上5年未満」(54.9%)、「1年未満」(37.7%)と、居住年数が長いほど定住意向がある。

平成19年度、平成20年度との比較

「今の地域に住みたい」と答えた人は、19年度から20年度にかけては、「1年未満」で11.7ポイント増えている。20年度から21年度にかけては、「1年以上5年未満」は増加したが、その他は減少している。

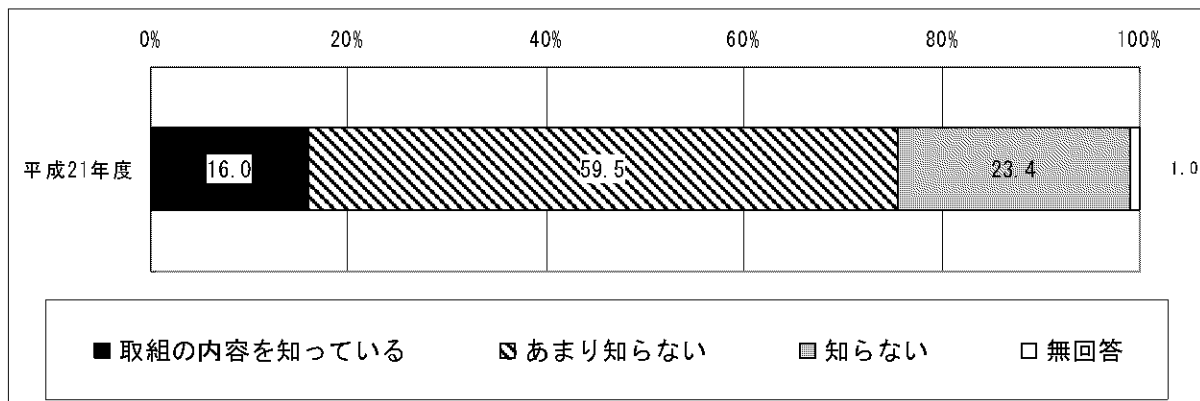
(8) 「^{うま}美し国おこし・三重」の認知度

問2-9 三重県では、2009年（平成21年）から2014年（平成26年）までの6年間にわたって、「^{うま}美し国おこし・三重」の取組を展開していきます。あなたは、「^{うま}美し国おこし・三重」の取組をどの程度ご存知ですか。

（回答は単一選択式）

○全体

（集計資料 p.126）

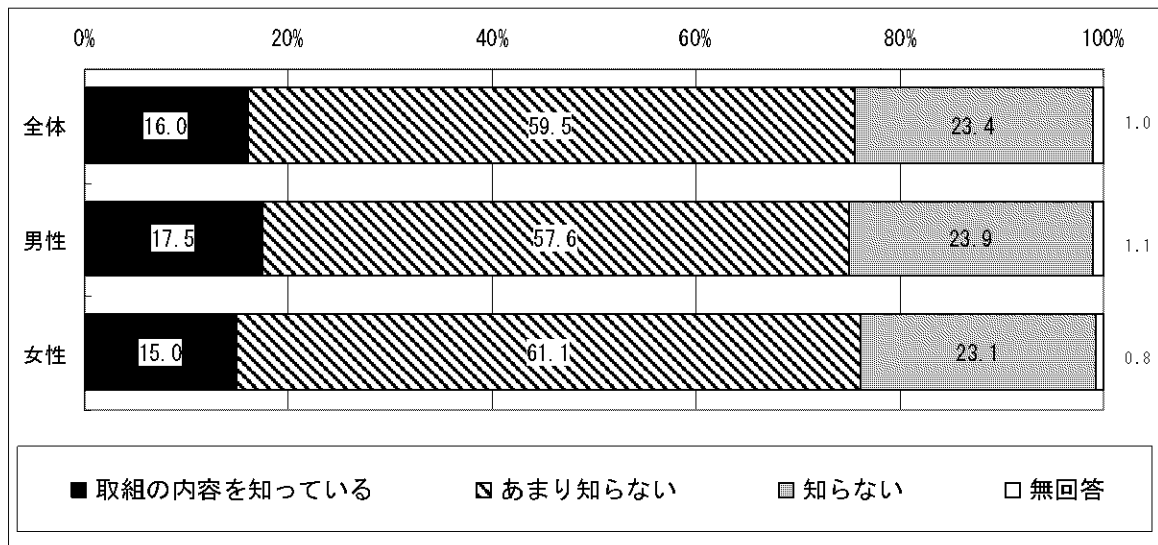


全体では、「取組の内容を知っている」が16.0%となっている。

一方、「あまり知らない」と答えた人が59.5%と最も多く、「知らない」（23.4%）を合わせると8割以上を占めている。

○性別

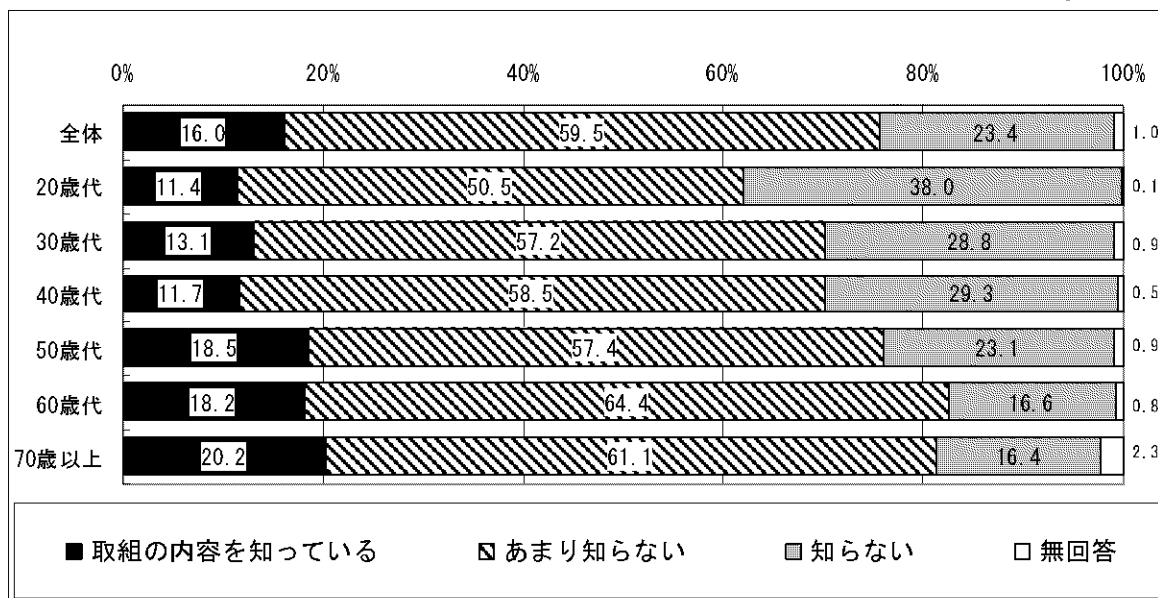
(集計資料 p.126)



「取組の内容を知っている」と答えた人は、男性 17.5%、女性 15.0%と男性の方がやや多くなっている。

○年齢層別

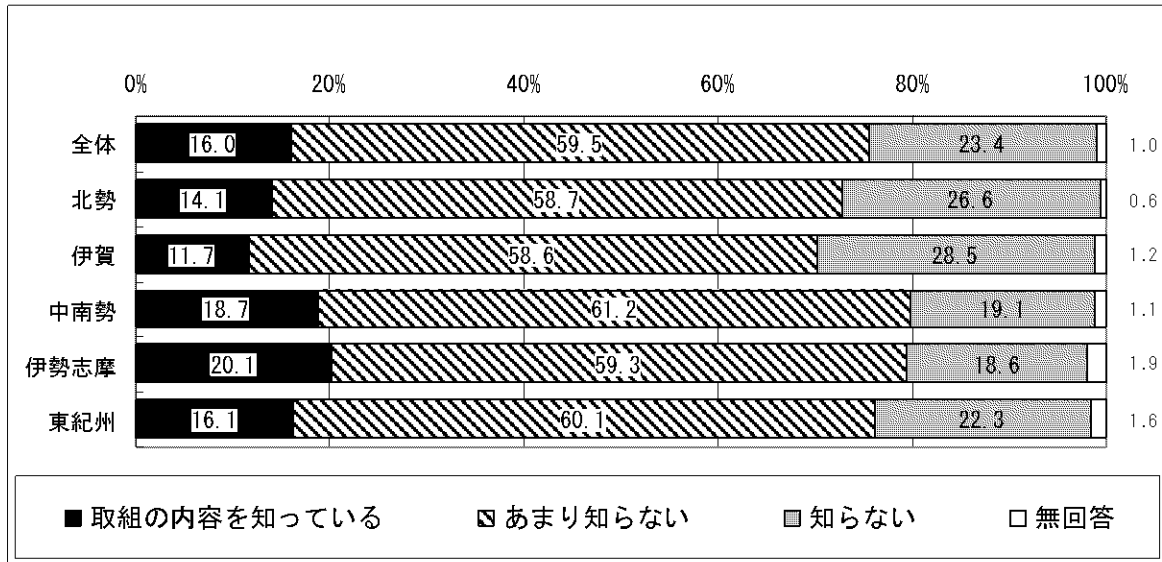
(集計資料 p.126)



「取組の内容を知っている」と答えた人は、20～40 歳代は約 1 割、50～70 歳以上は約 2 割となっている。また、「知らない」と答えた人は、20 歳代 (38.0%) で最も多く、年齢が上がるに従って少なくなる傾向にある。

○地域別

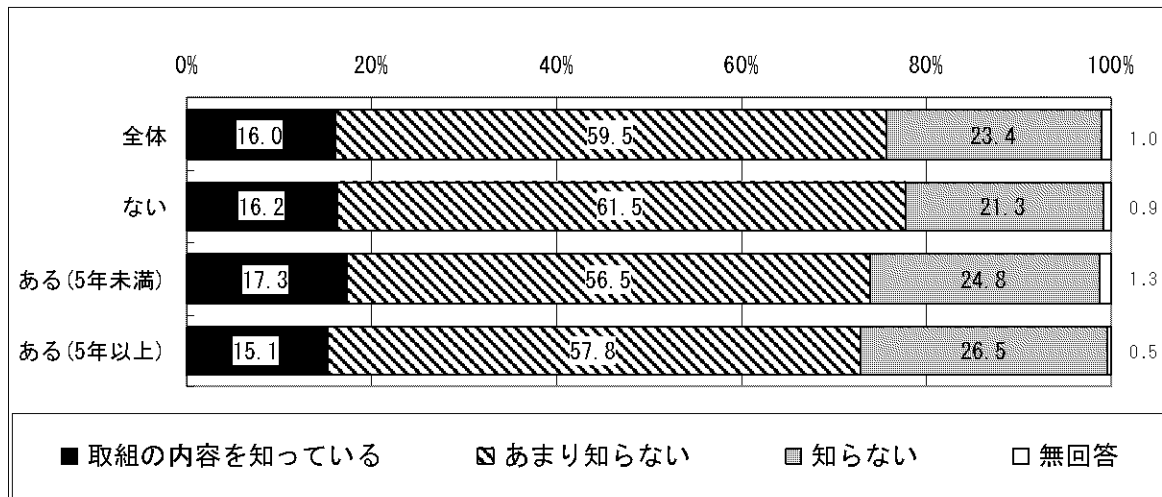
(集計資料 p.126)



「取組の内容を知っている」と答えた人は、伊勢志摩地域（20.1%）が最も多く、中南勢地域、東紀州地域、北勢地域の順で、最も低い伊賀地域では11.7%となっている。

○県外在住の経験別

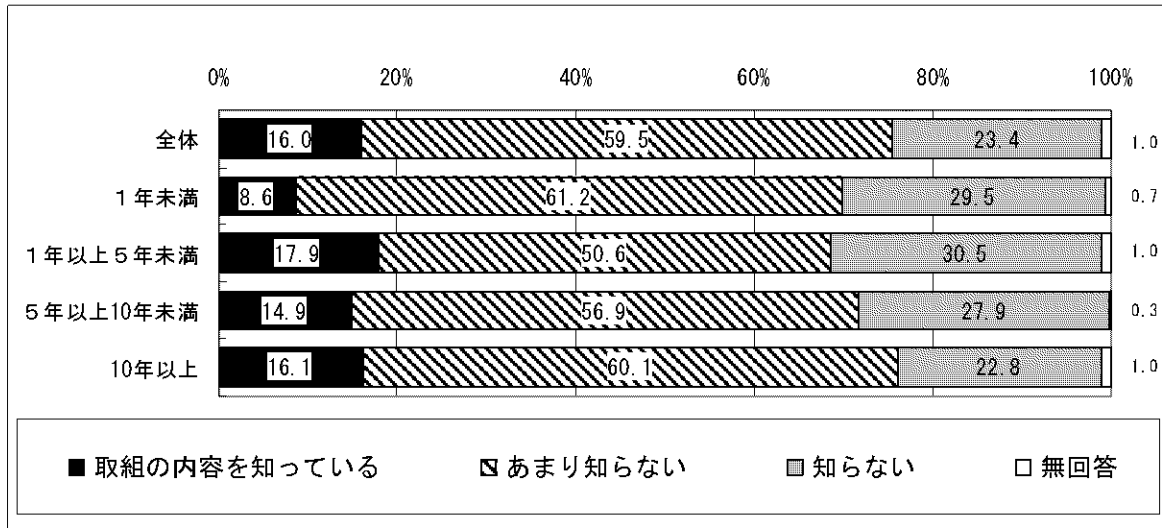
(集計資料 p.126)



「取組の内容を知っている」と答えた人は、県外在住経験が「ある（5年未満）」（17.3%）が最も多いが、県外在住経験による大きな違いはない。

○居住年数別

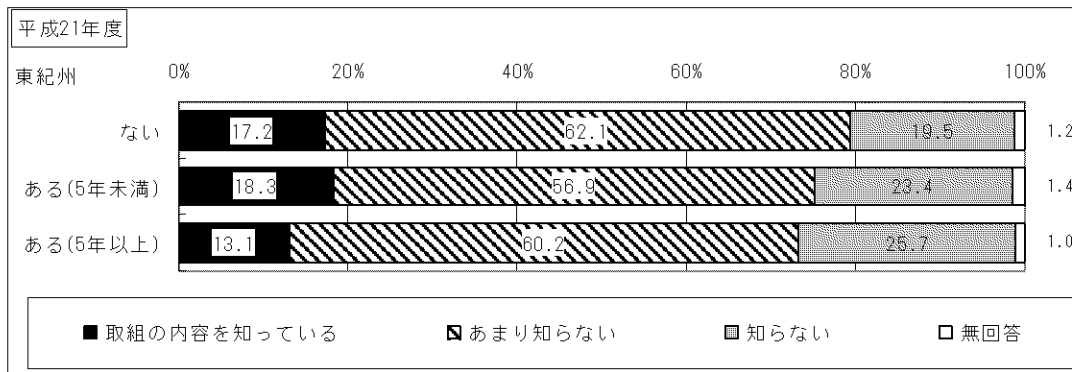
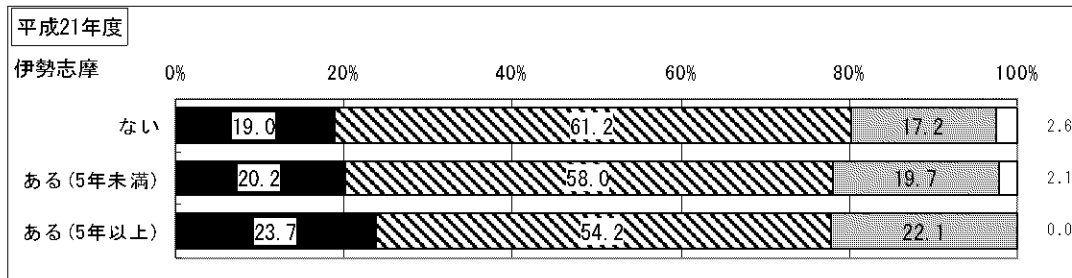
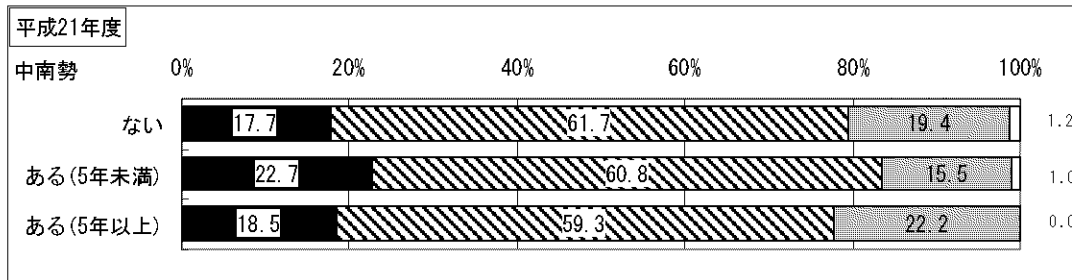
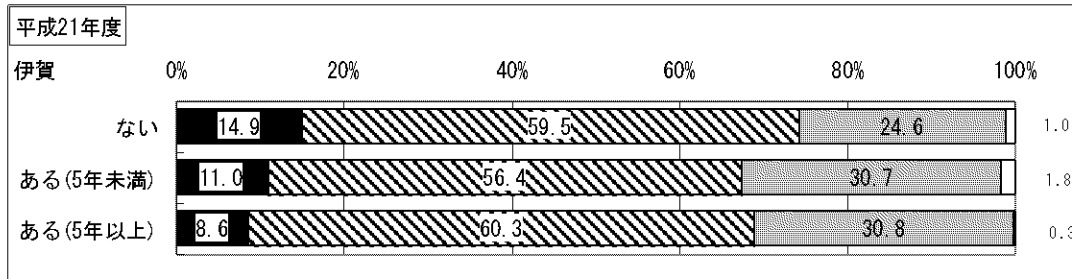
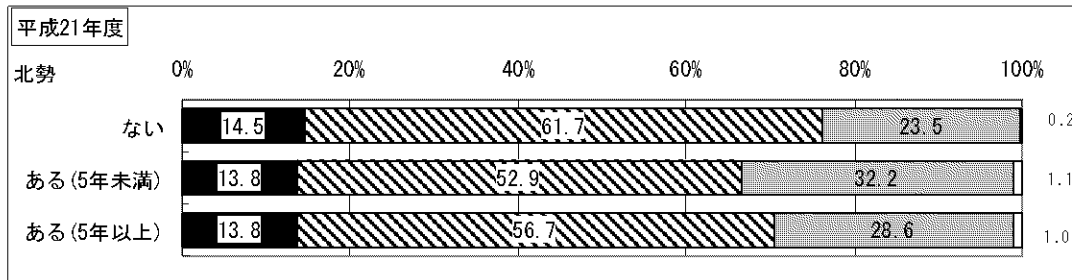
(集計資料 p.126)



「取組の内容を知っている」と答えた人は、「1年以上5年未満」(17.9%)で最も多く、「5年以上10年未満」(14.9%)、「10年以上」(16.1%)と、15%前後の認知度がある。一方、「1年未満」は8.6%とやや少ない。

○地域・県外在住経験別

(集計資料 p.127)



「取組の内容を知っている」と答えた人は、北勢地域は、県外在住経験による差はないが、伊賀地域では、「ない」人が最も多く、「ある(5年未満)」、「ある(5年以上)」の順で少なくなり、東紀州地域は、「ある(5年未満)」、「ない」人で多く、「ある(5年以上)」は少なくなっている。中南勢地域、伊勢志摩地域では、「ない」人より「ある」人の方が多い。